

私——
小川^{さき}沙樹はいま
悩んでいます

主任
ここまで大丈夫
でしょうか

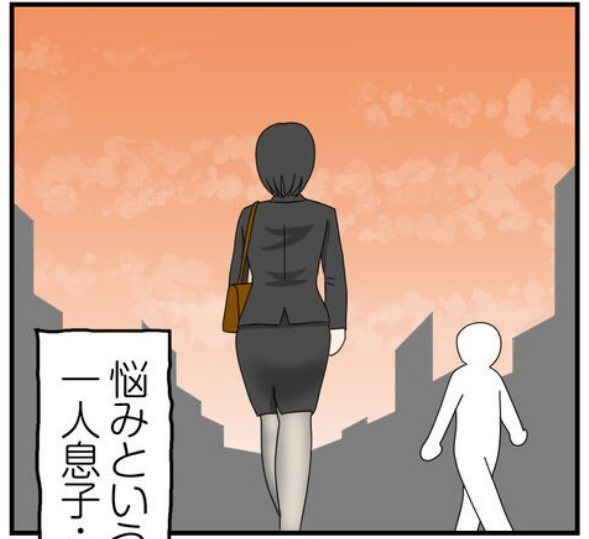
ウン
問題ないよ

オナネタ
母さん 3

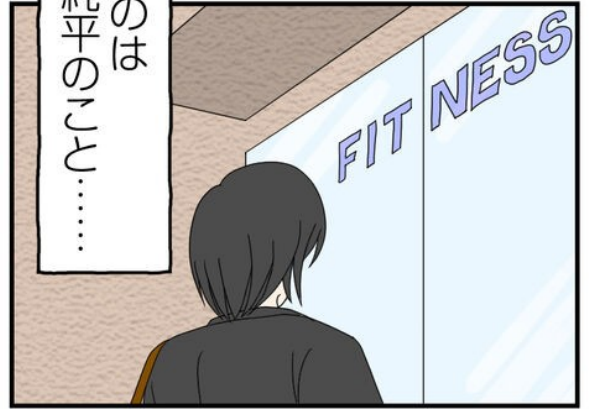
イカされる私
水洗いの会

息子と私は半年ほど前

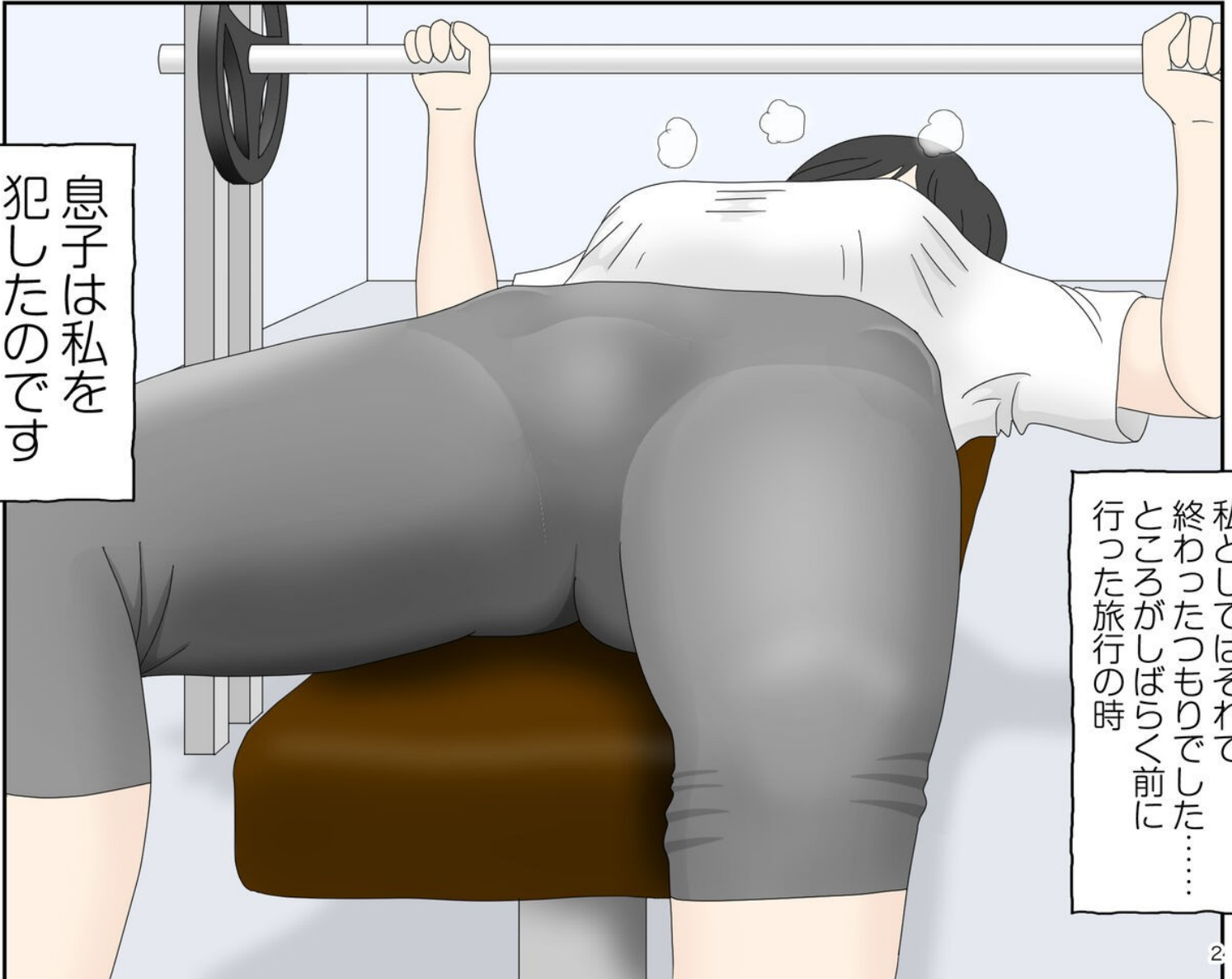
性交をしました



悩みというのは
一人息子・純平のこと……



息子は私を
犯したのです



私としてはそれで
終わったつもりでした……
ところがしばらく前に
行った旅行の時



しかし
先日……

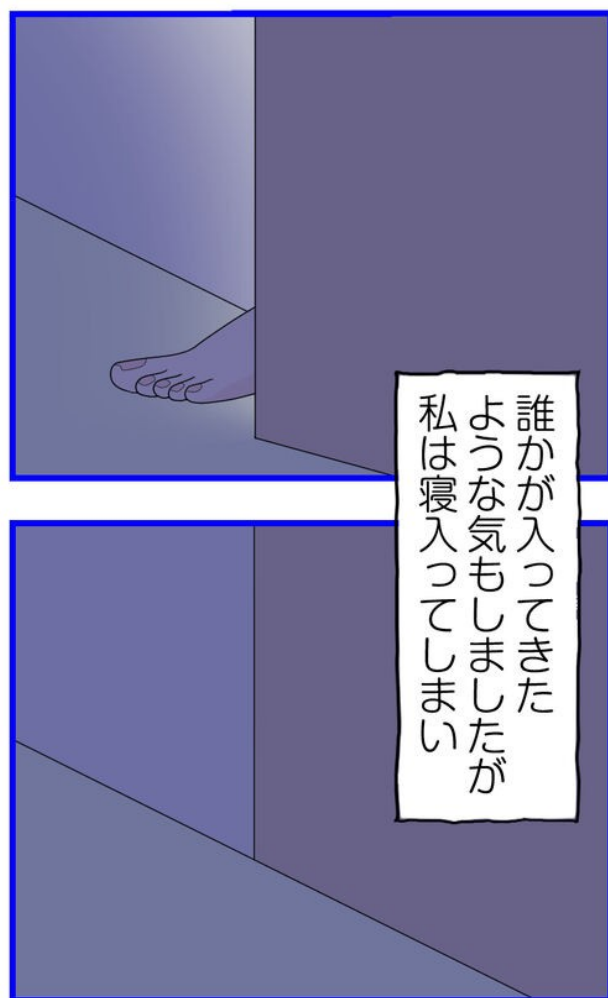
あれ以来
息子に性交は
させていません



明け方まで
何度も何度も

私をおどすような
ことまで言って……

俺の言うこと
きかないと
父さん起こす

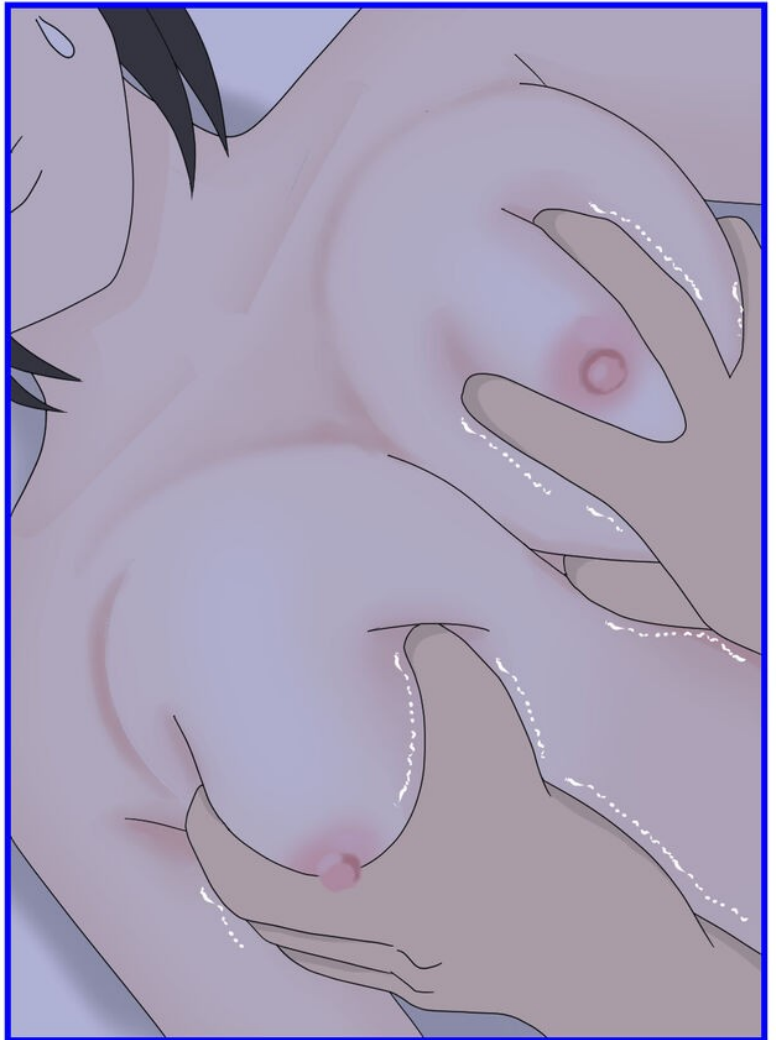
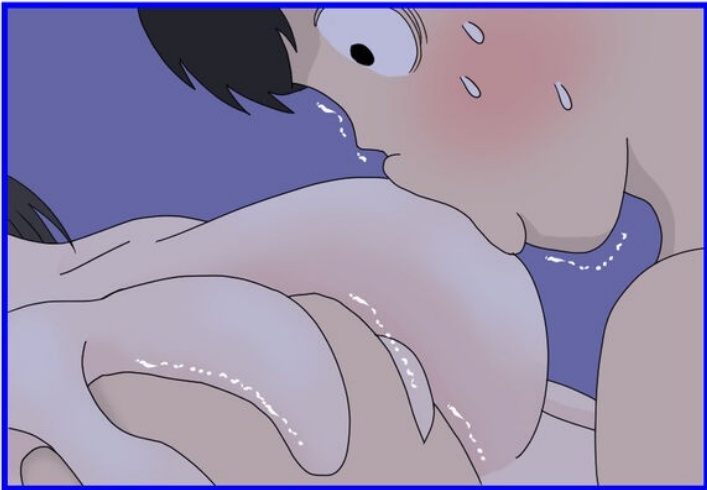


誰かが入ってきた
ような気もしましたが
私は寝入ってしまった



真夜中
こんな事が
ありました

気がついた
時には
息子によって
全裸にされて
いました



私はじっと
我慢し続けるしか
ありませんでした

あの子はわかって
いるんです……
私が実は気づいていて
仕方なく許しているんだと

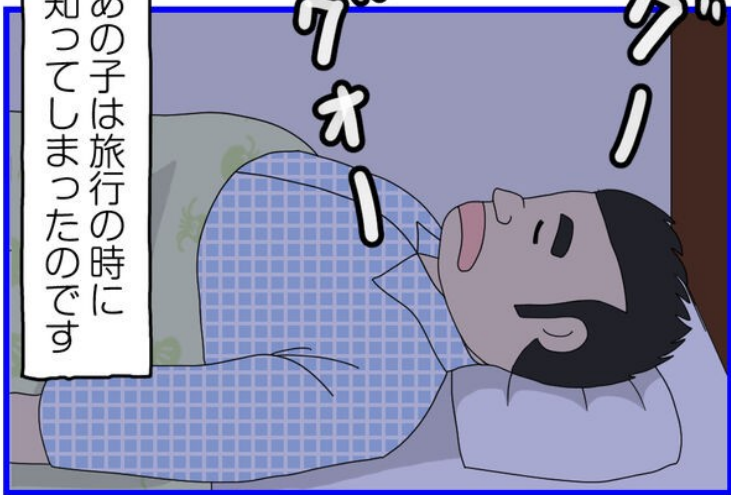
さすがに膣内を
見られた時は
声を荒げようかと
思いましたが……

くぱぁ

私には
できませんでした



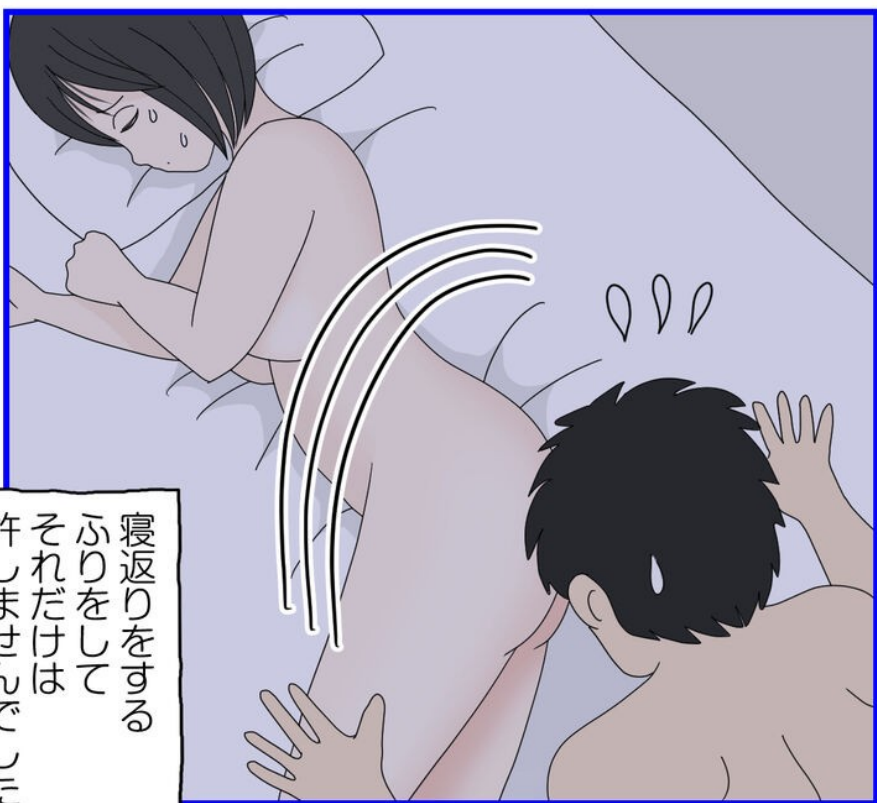
決して夫に知られては
ならないという弱みが
私にあることを……



あの子は旅行の時に
知ってしまったのです



息子は
当たり前のように
最後までしようと
しましたが



寝返りをする
ふりをして
それだけは
許しませんでした

次の日から寝室に
鍵をかけることに
しましたが



それ以来
私を見る
息子の目が……



でも……無理はないのです
あの子を責めることはできません

最初に性交をしようと
持ちかけたのは私なのですから

実を言うと
いちばん
心配なのは
そういう性的な
ことではなく……

キュッ



通知表

学校教育目標
に希望を持ち、今日を
重点目標

純平の成績は急降下……
勉強が手につかないのでしょう
進学もかなり難しい状態です

大学がすべてではないので
あの子の意思で進学しないのなら
全然かまわないのですが



明日 息子と
話し合つて予定です

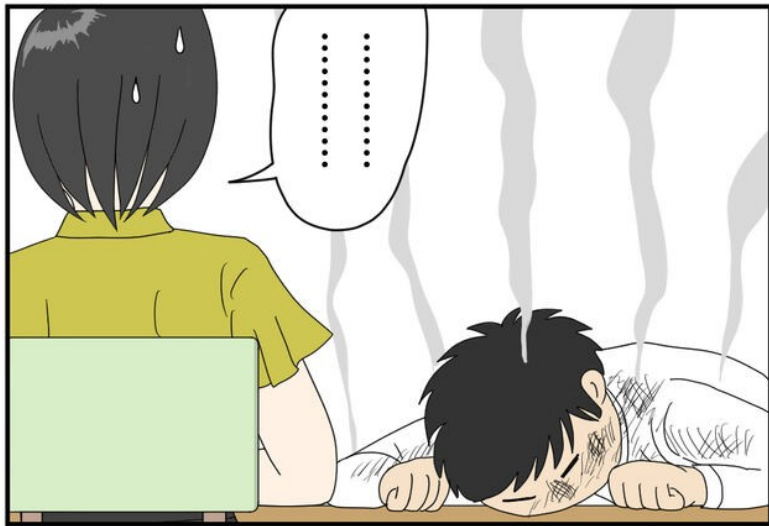


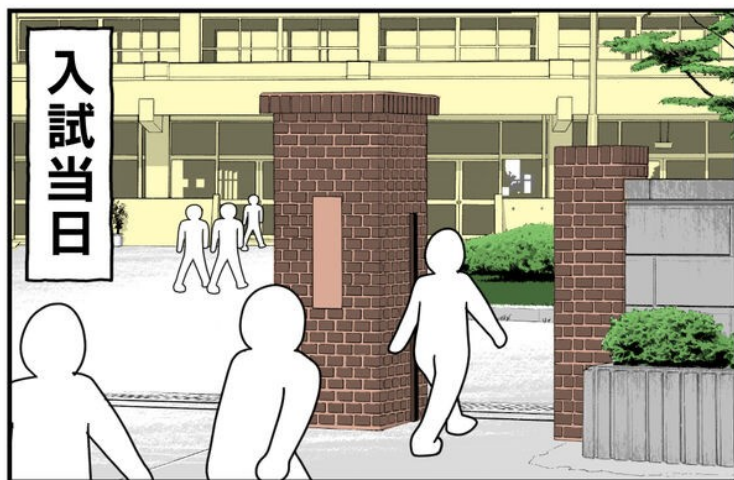
翌日

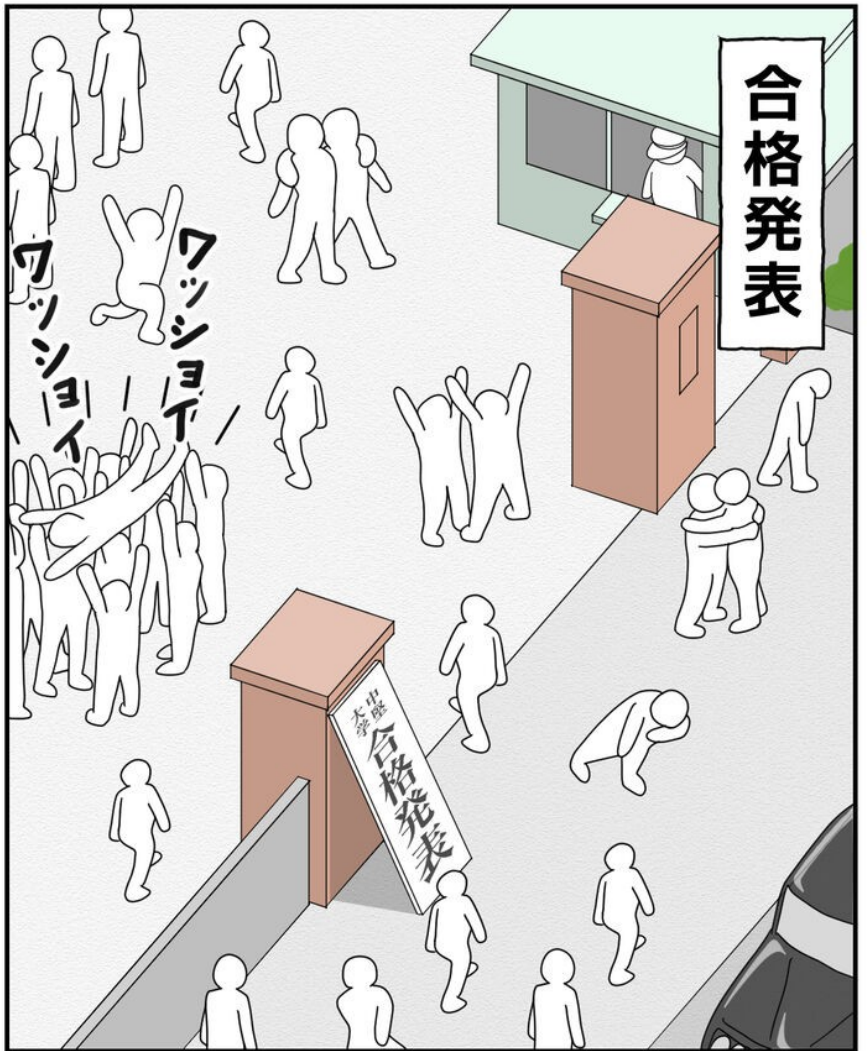


このままでは私が
息子の人生を
狂わせることに
なってしまう







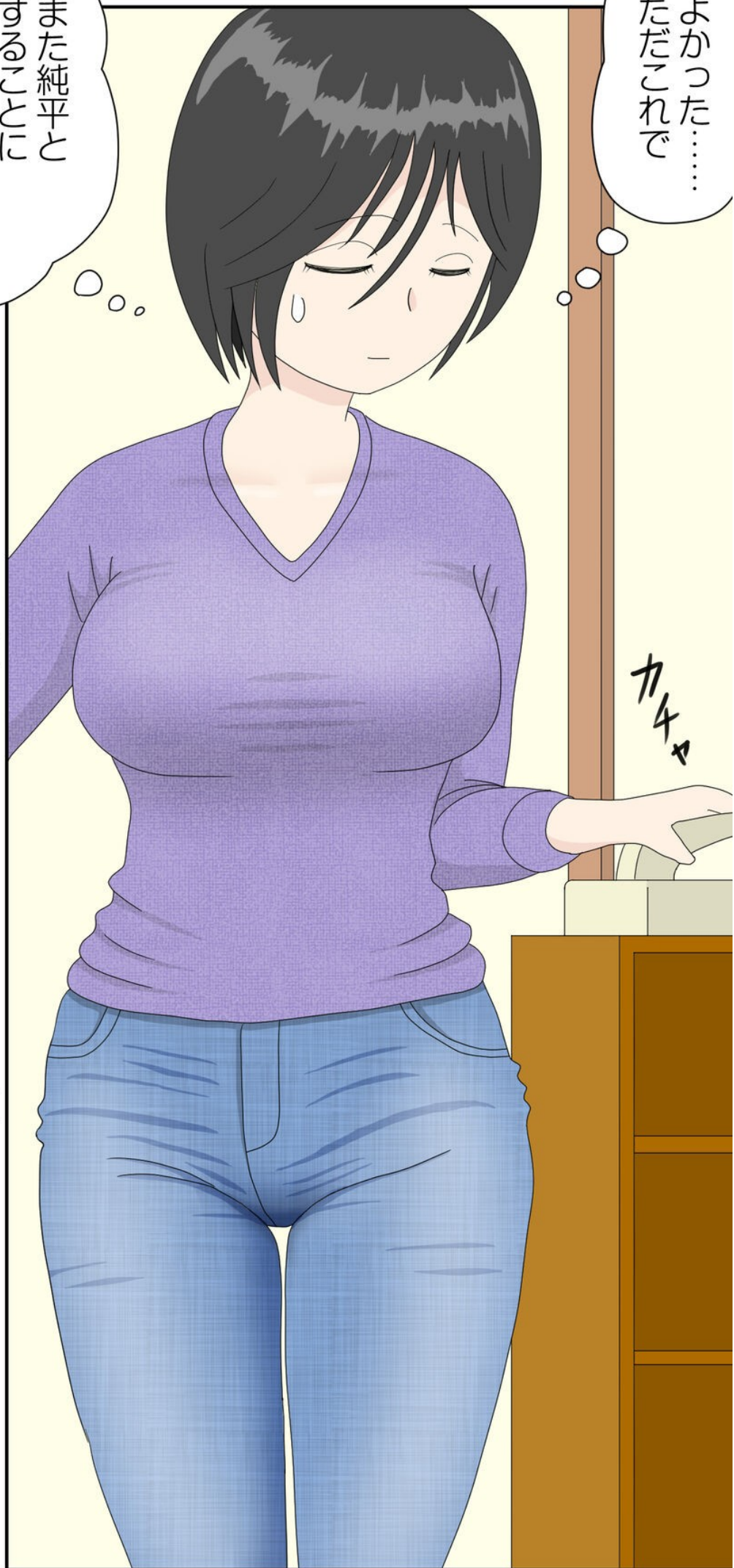


0094	340133	340
0095	340134	340
100	340139	340
01	340140	340
03	340145	340



よかった……
ただこれで

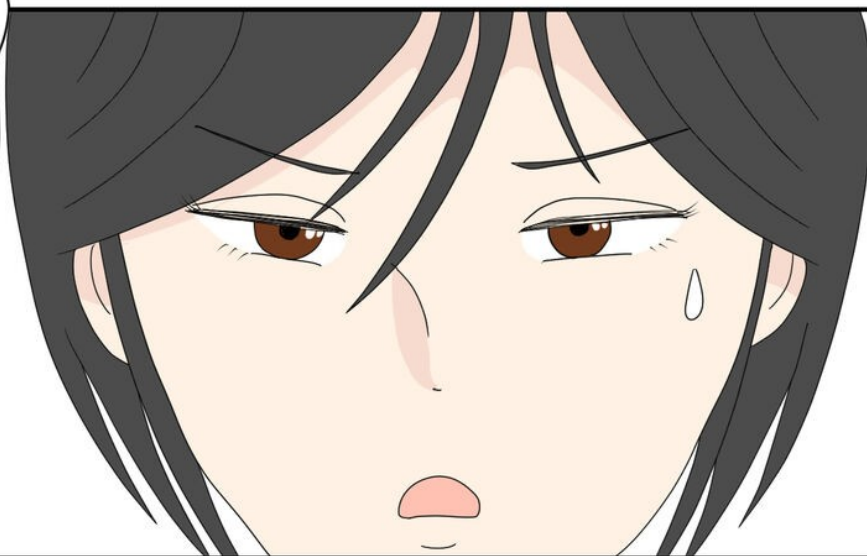
また純平と
することにな
ったちゃったけど
仕方ないわ



●射精は一回
●もちろん
避妊すること

いい？

守らないと
また顔が
パンパンに
はれること
になるわよ



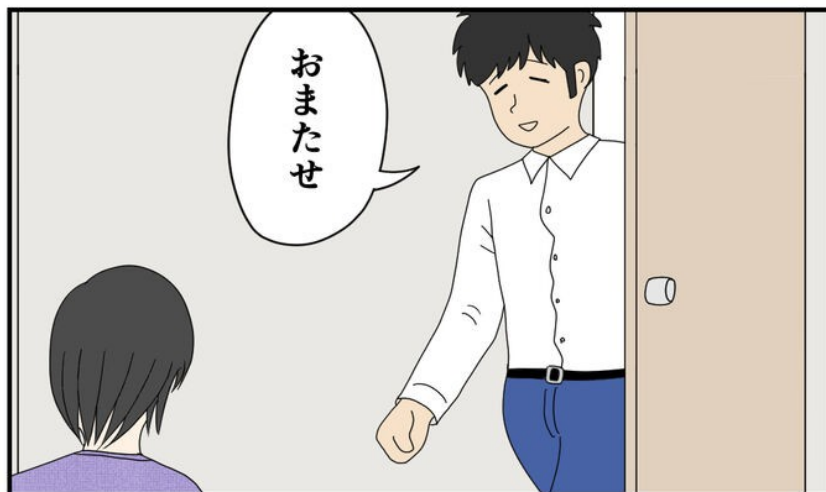
あ……
ちよつと
待って



オケ!!



おまたせ



……
?

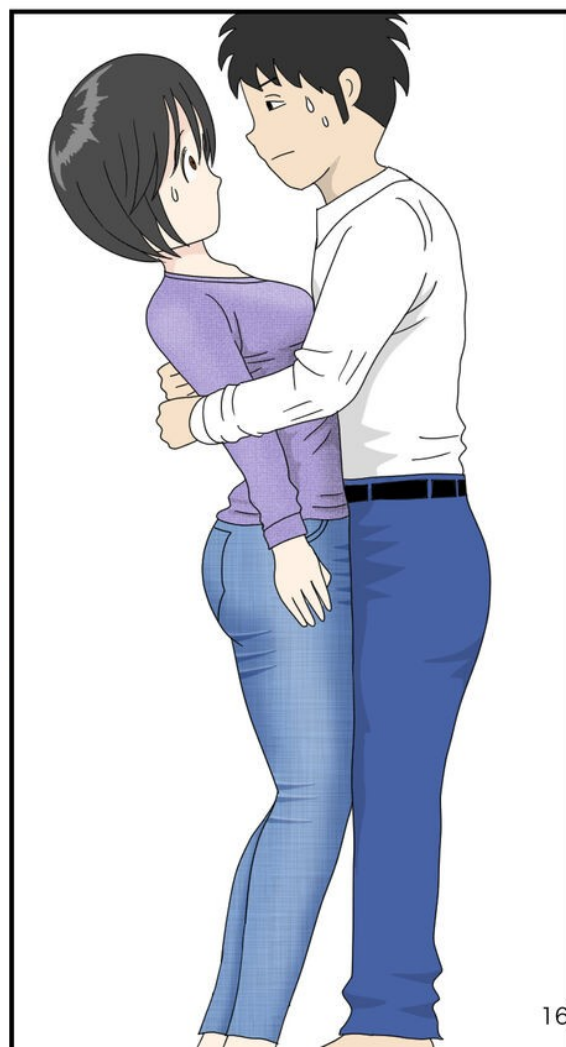
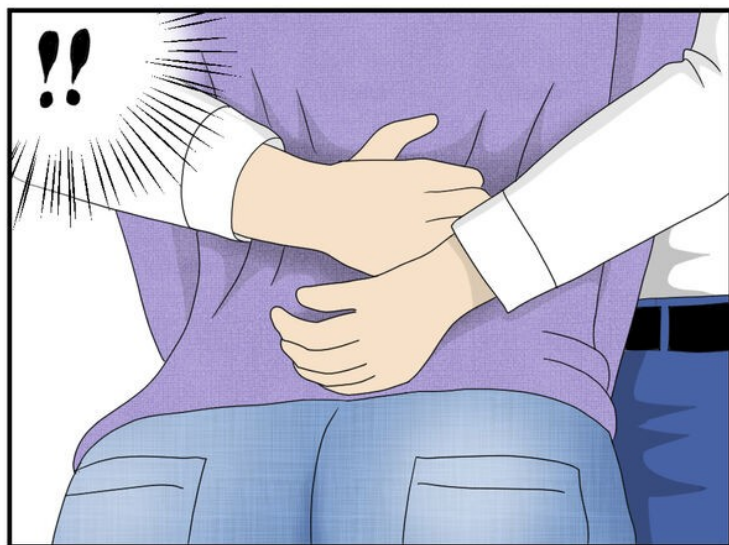
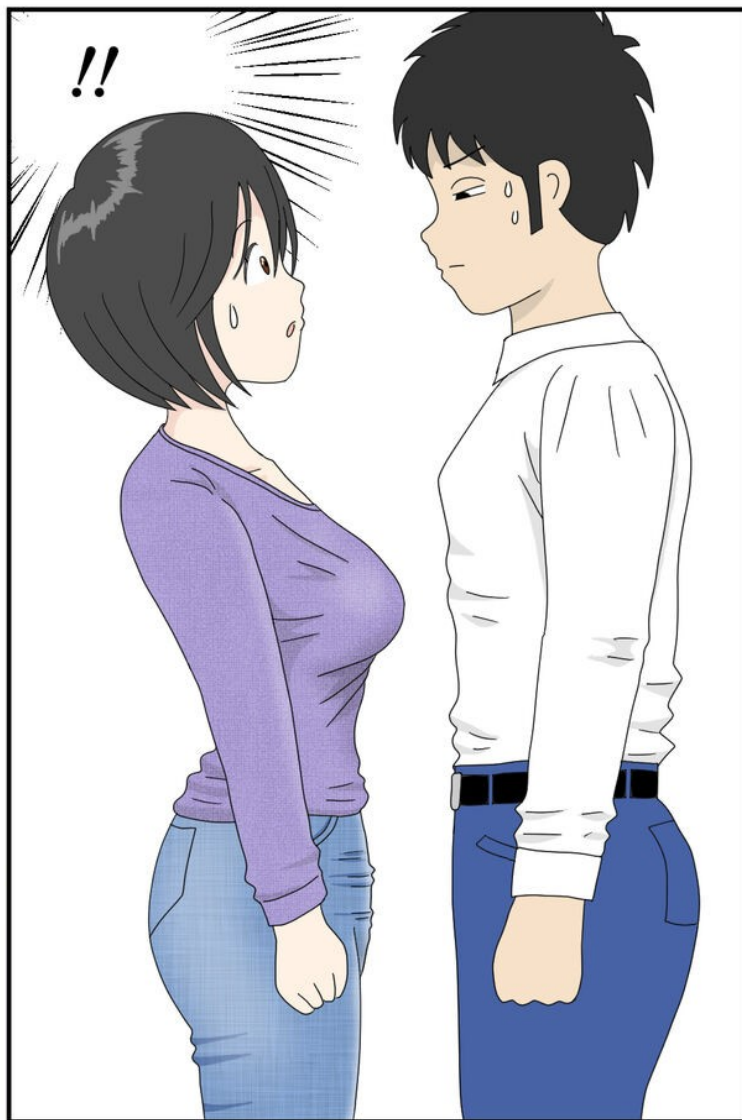


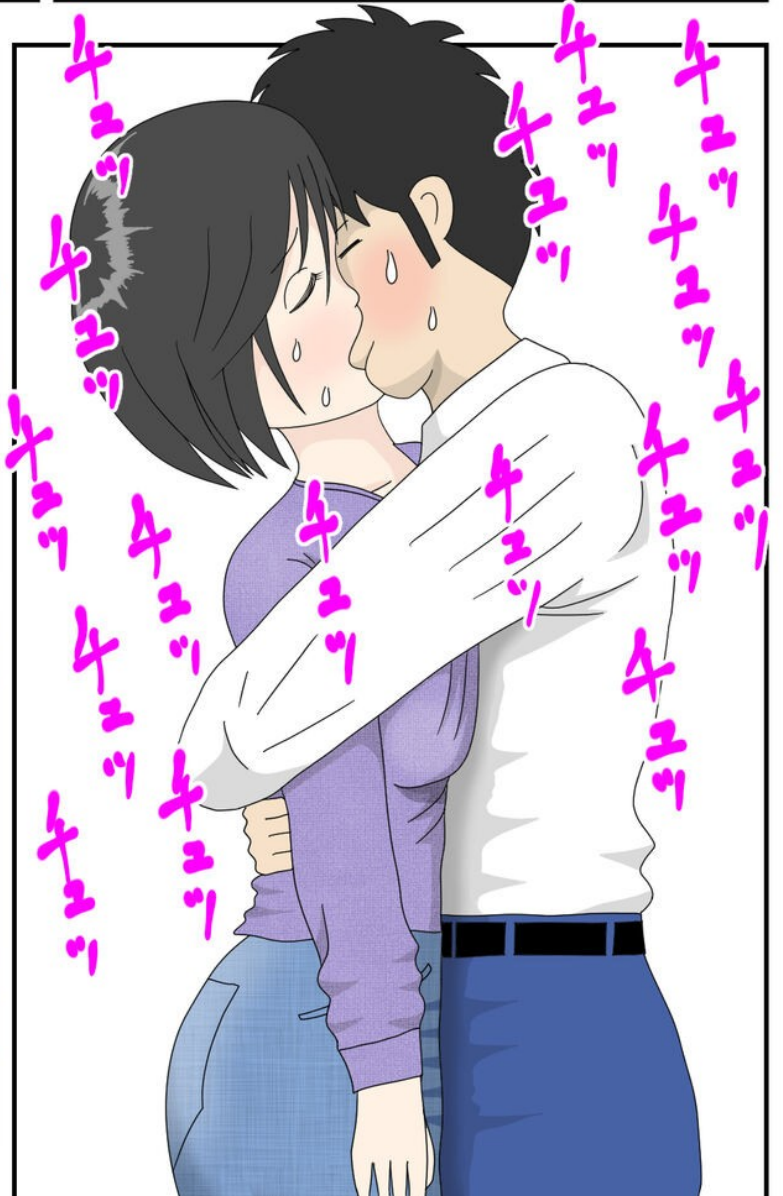
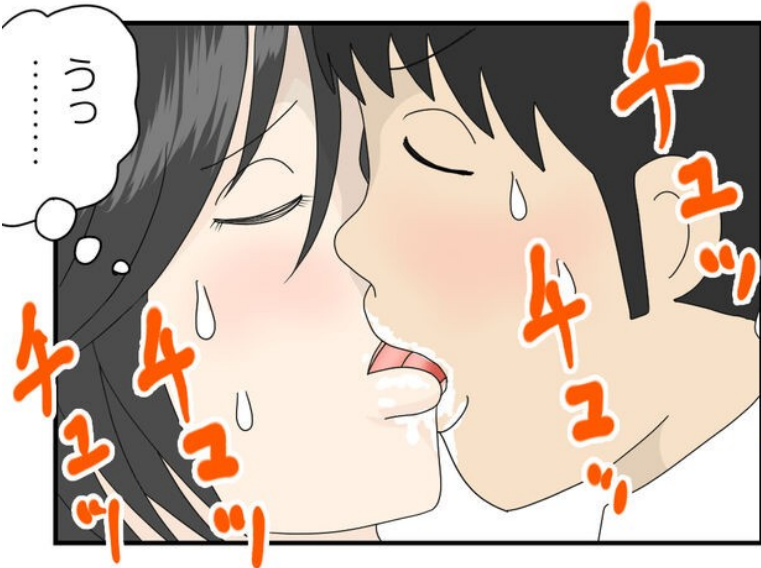
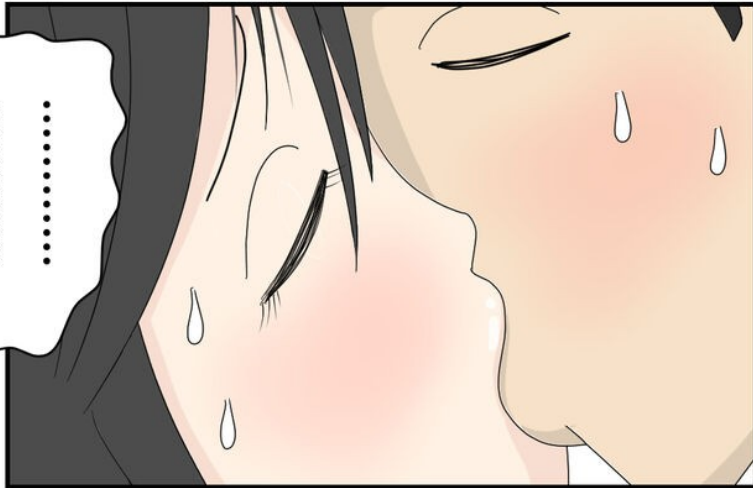
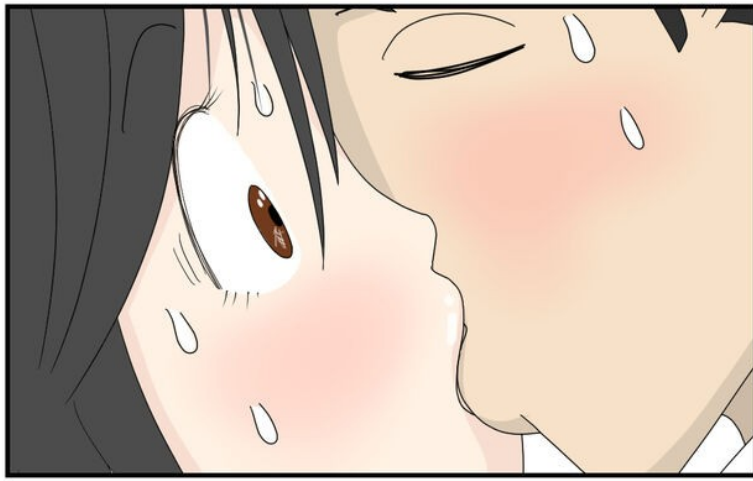
母さん
ちよつと
立ってみて

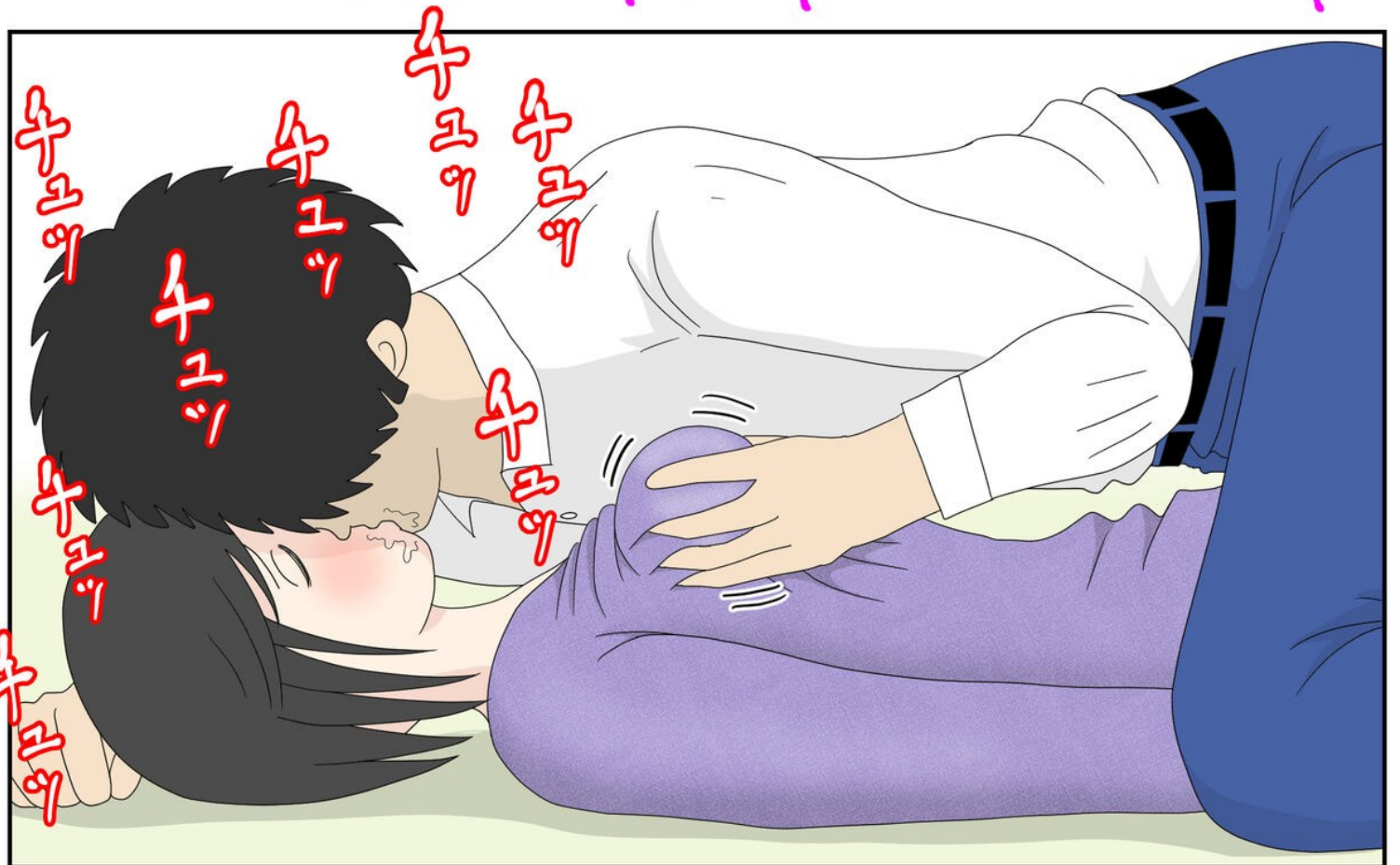


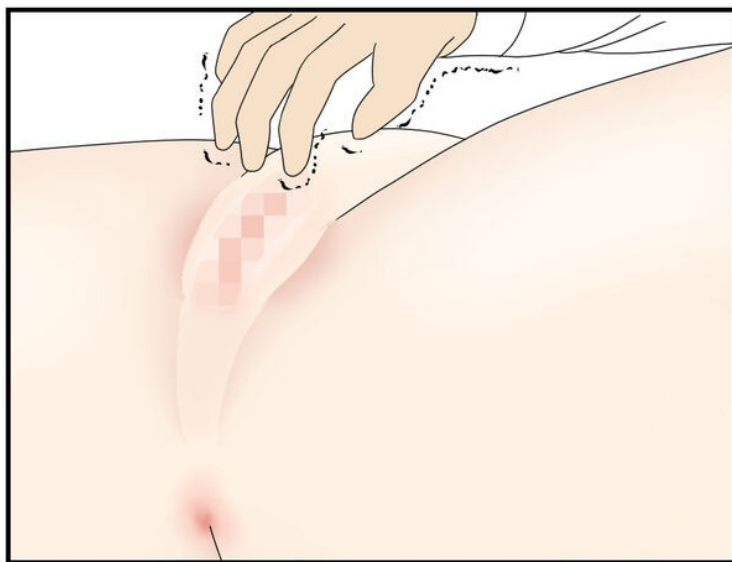
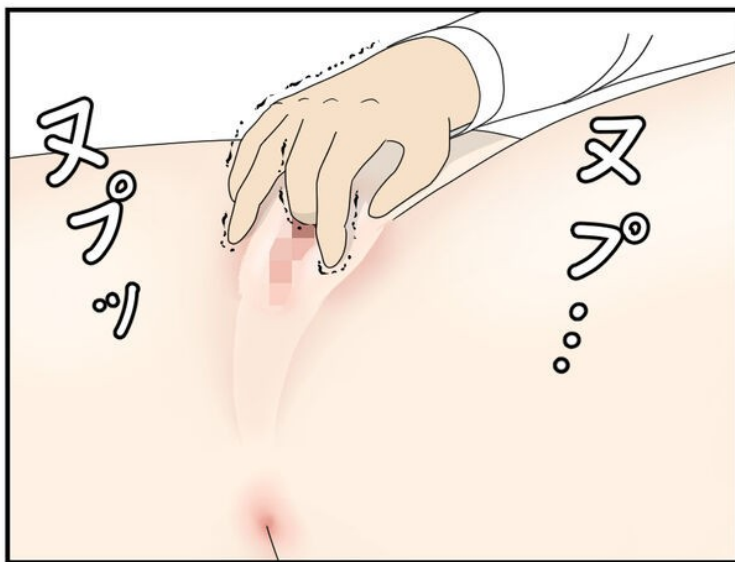
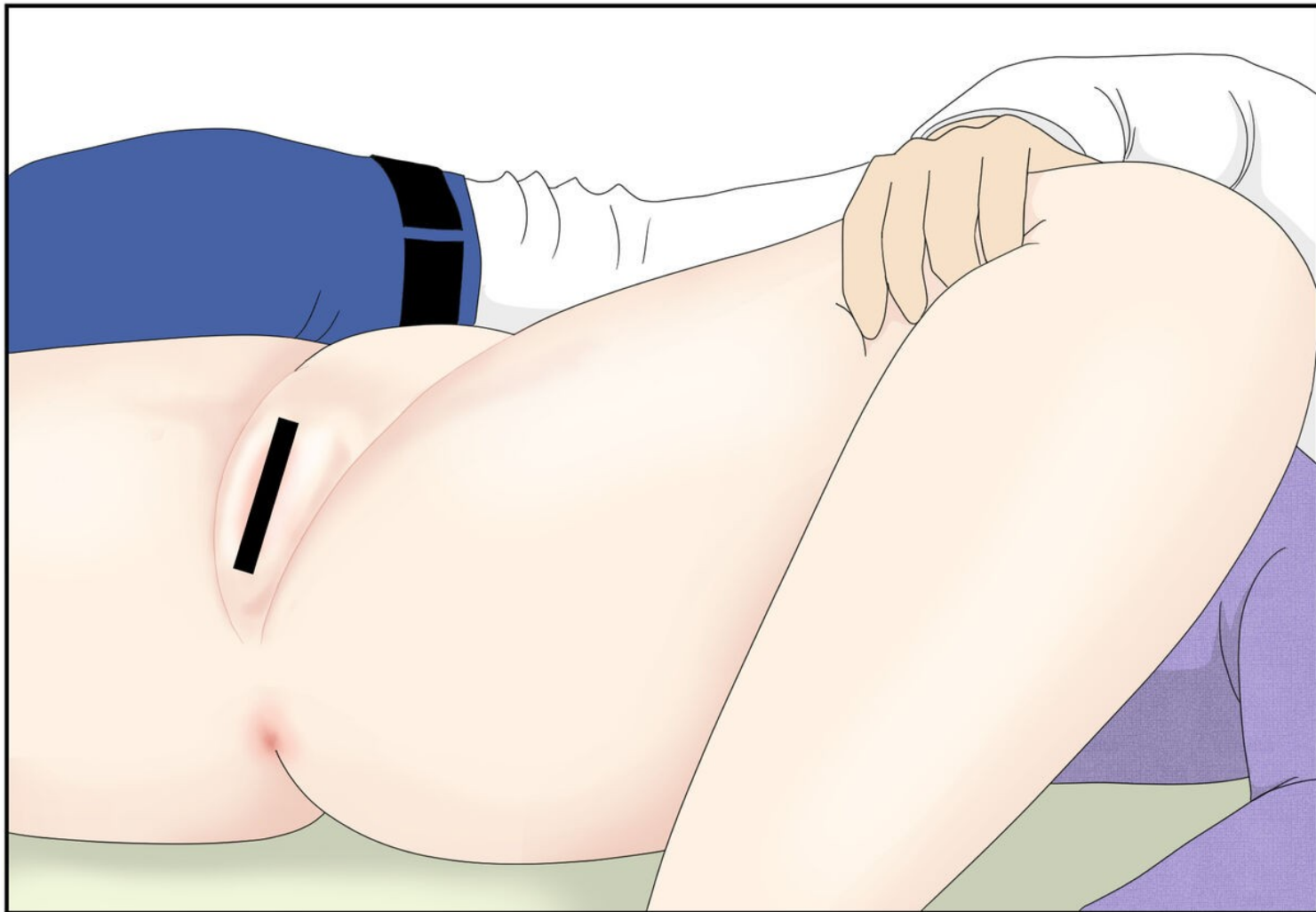
?

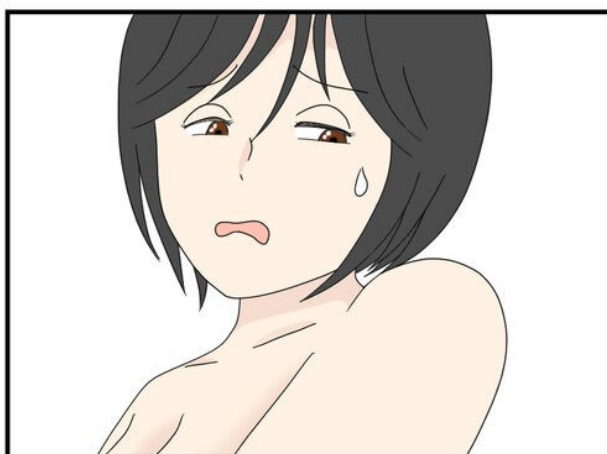
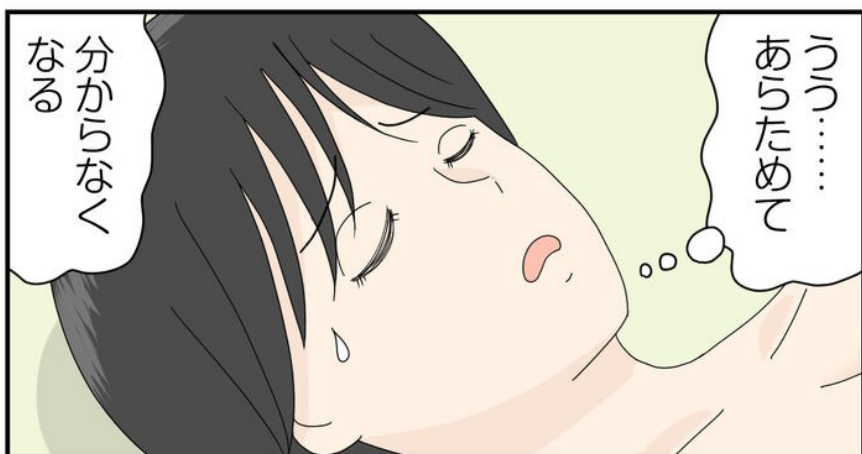
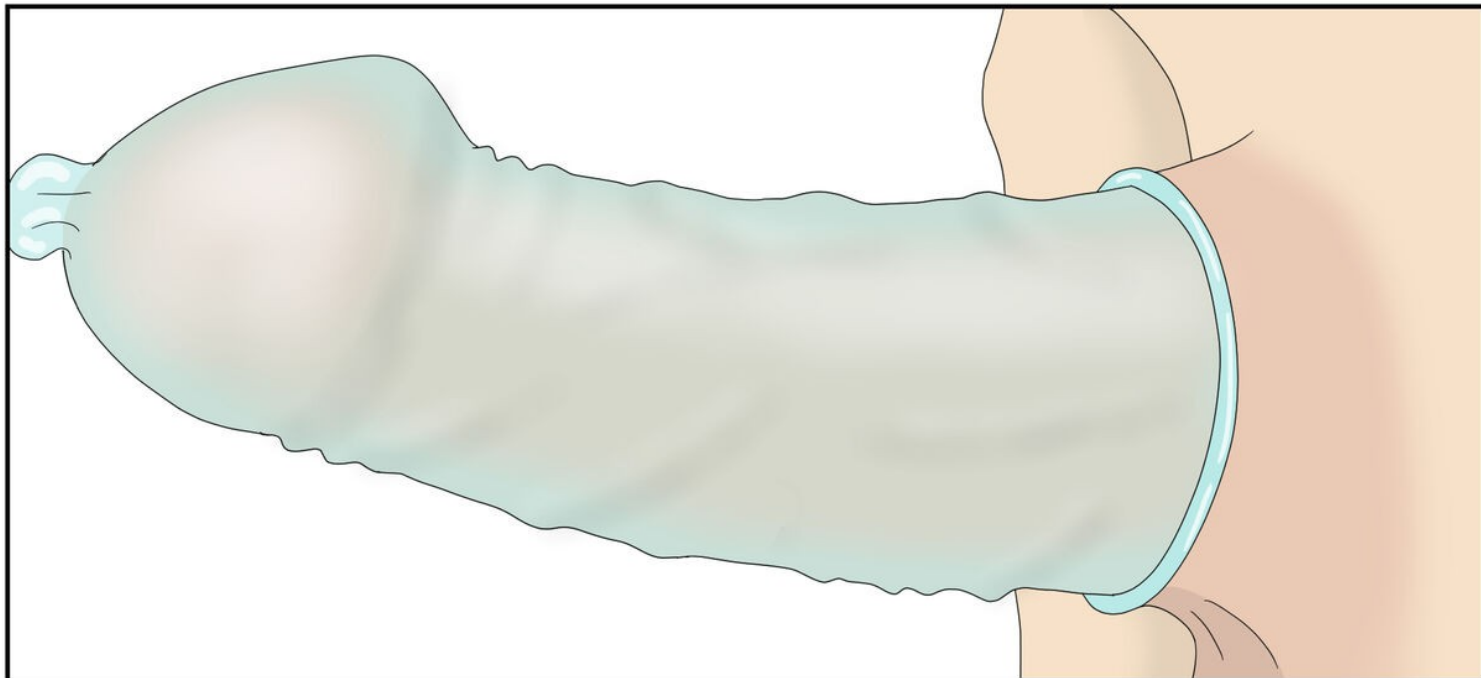


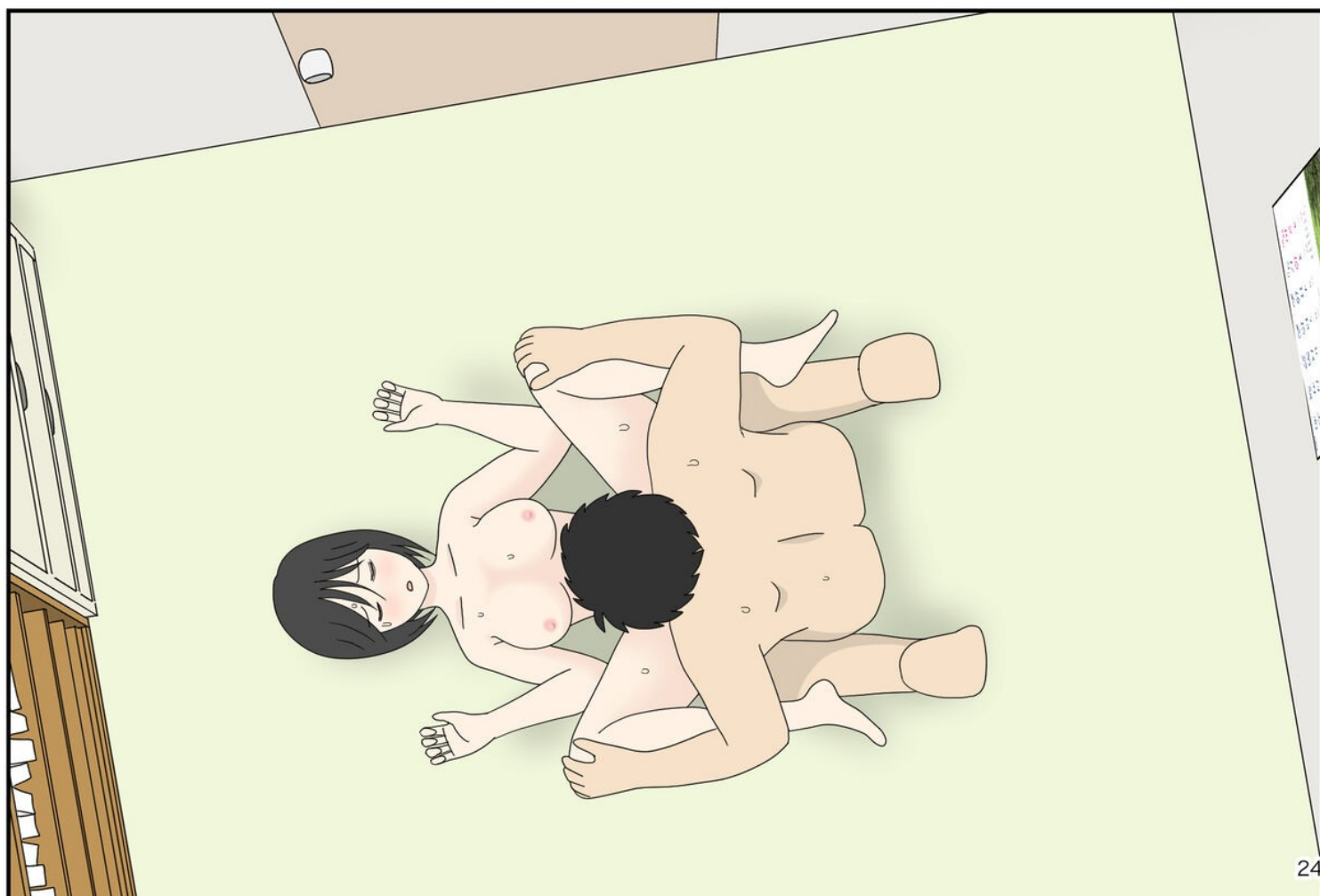
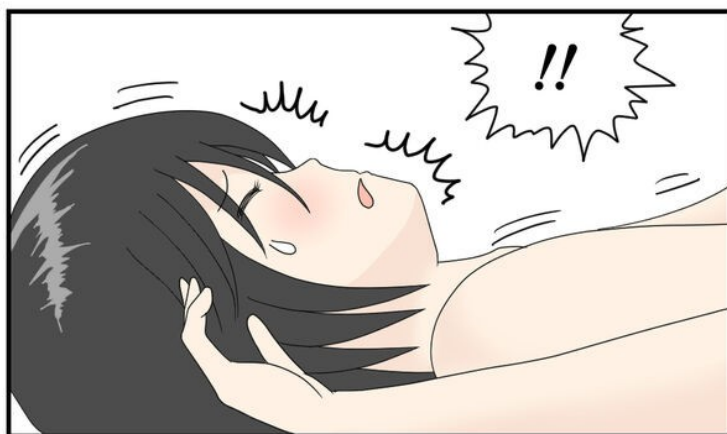
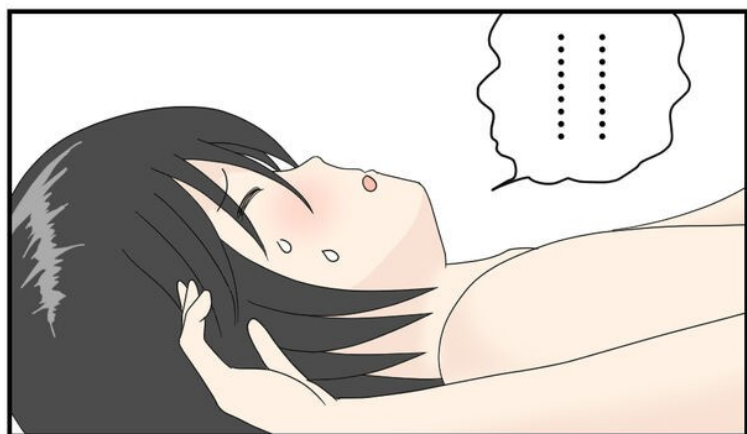
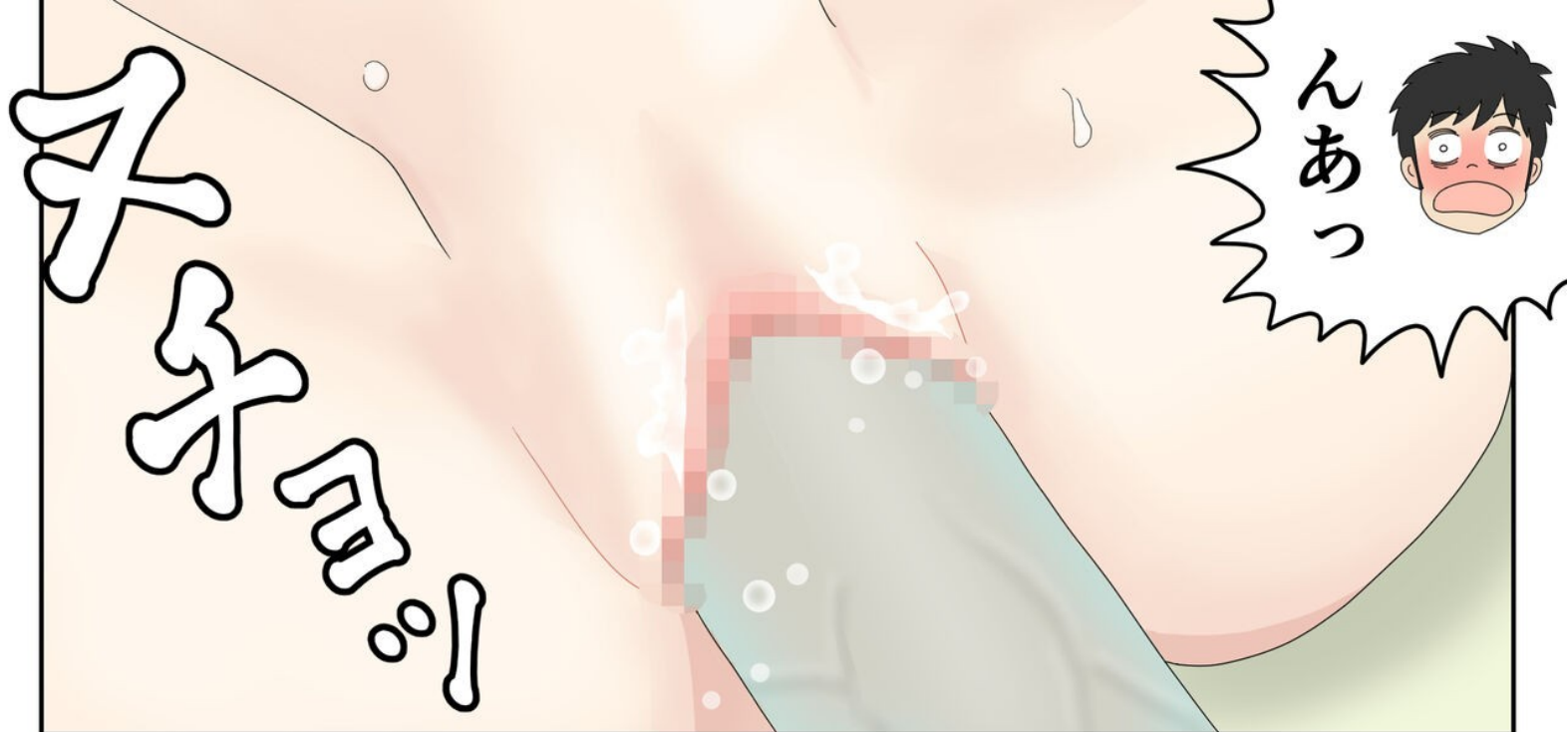


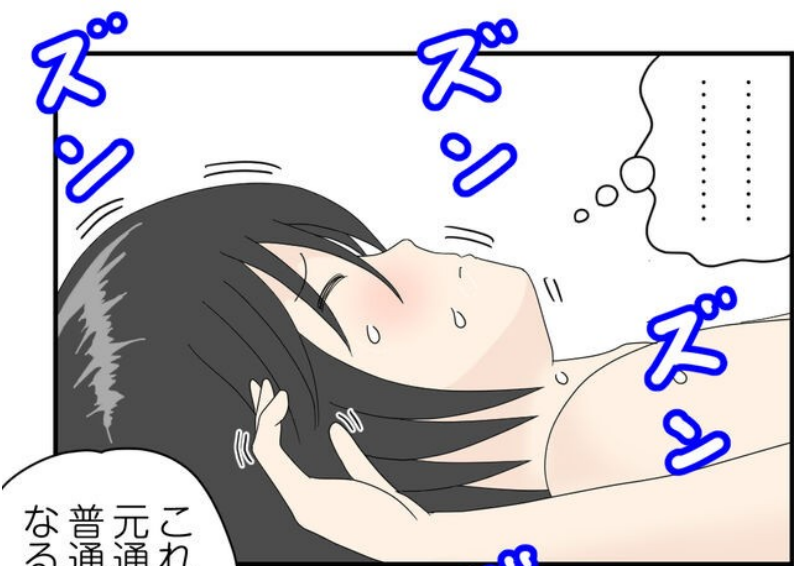


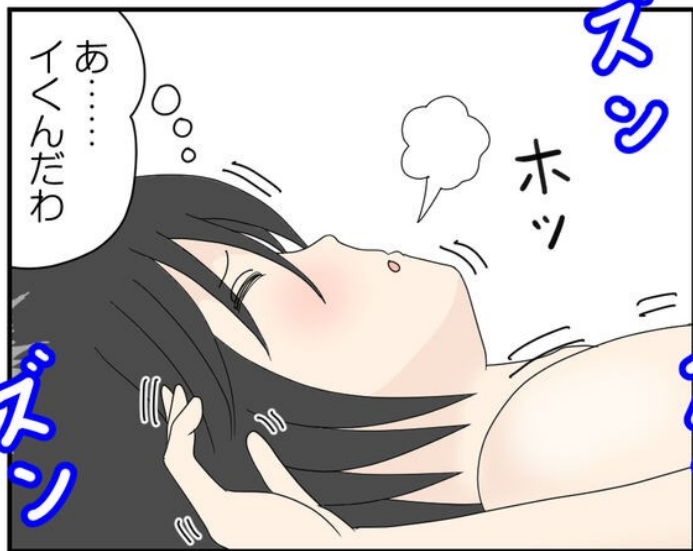


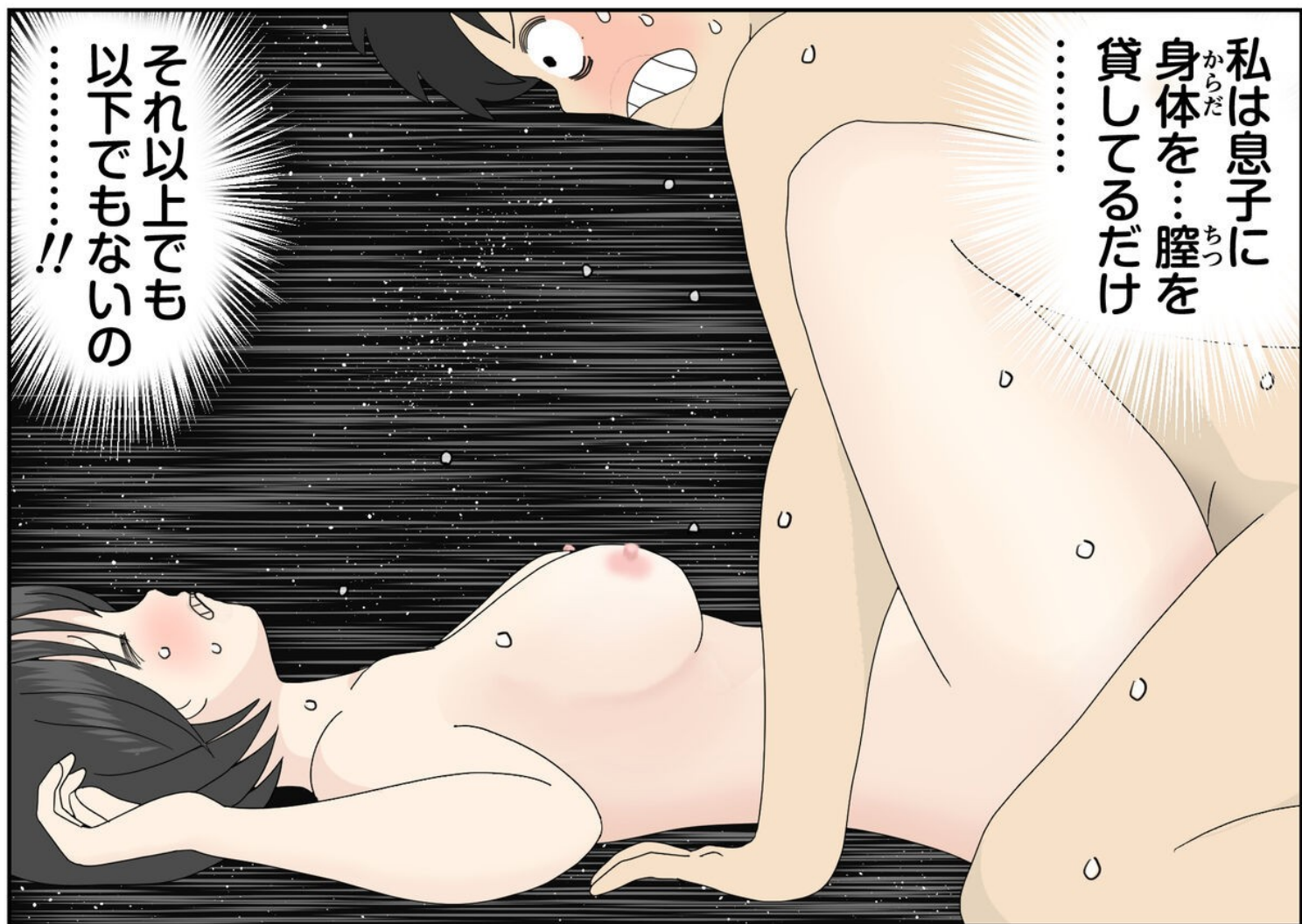
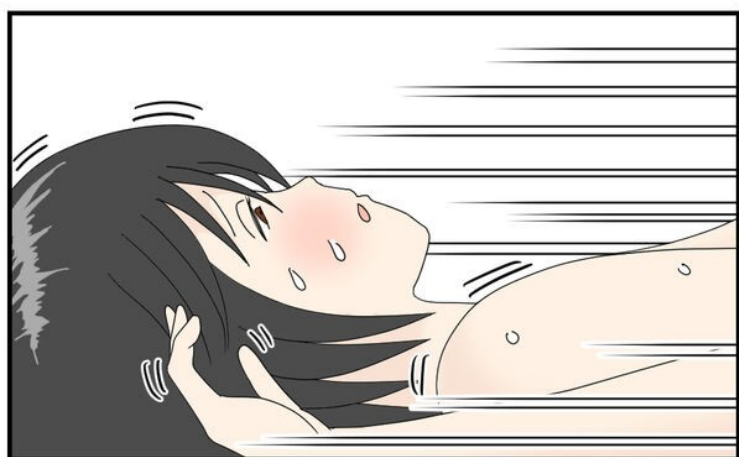
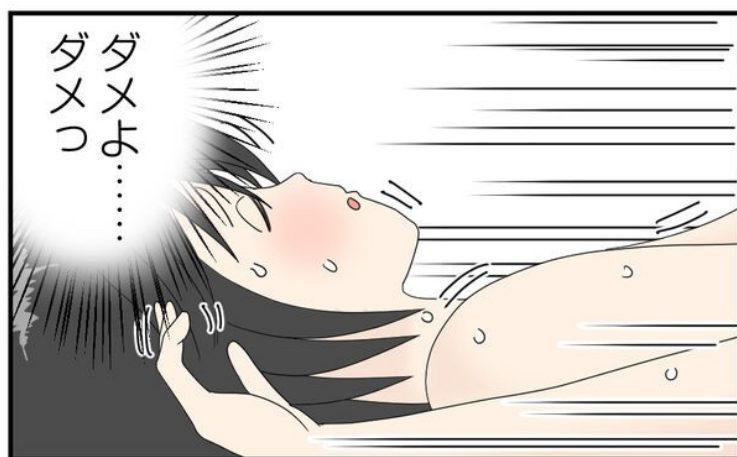


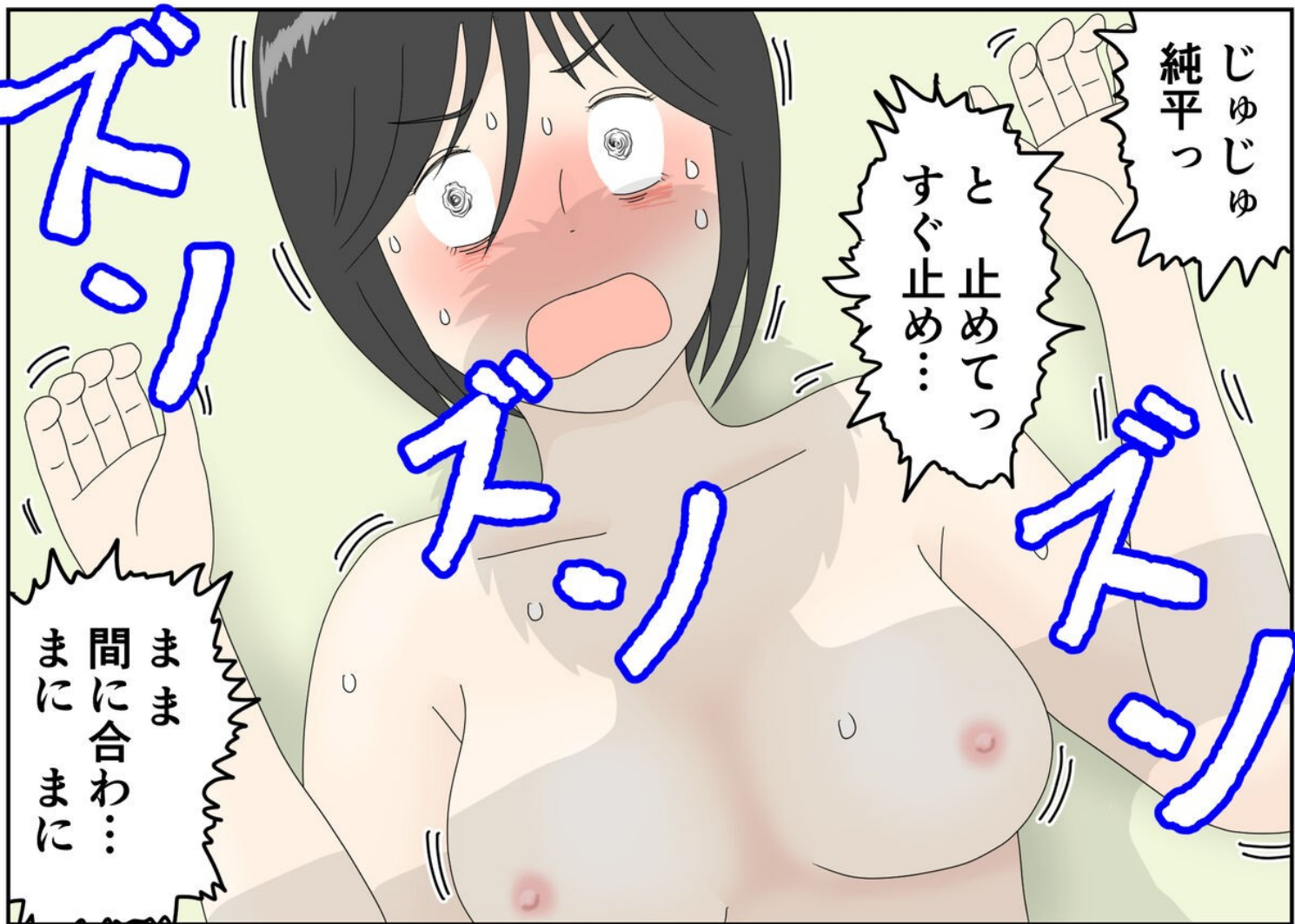
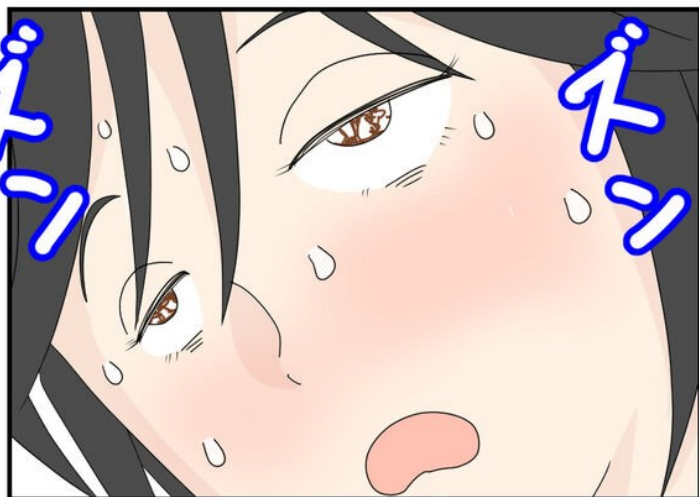












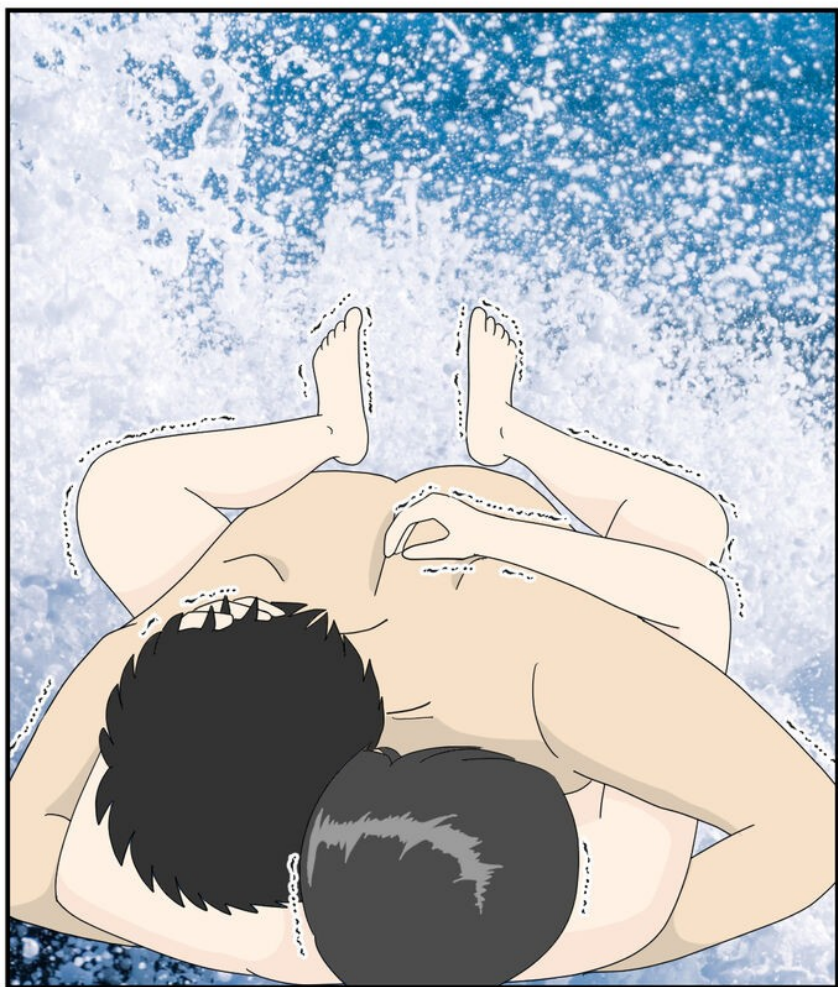
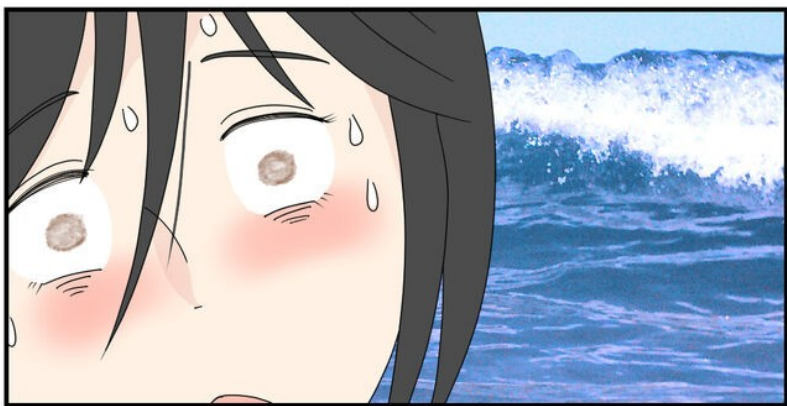
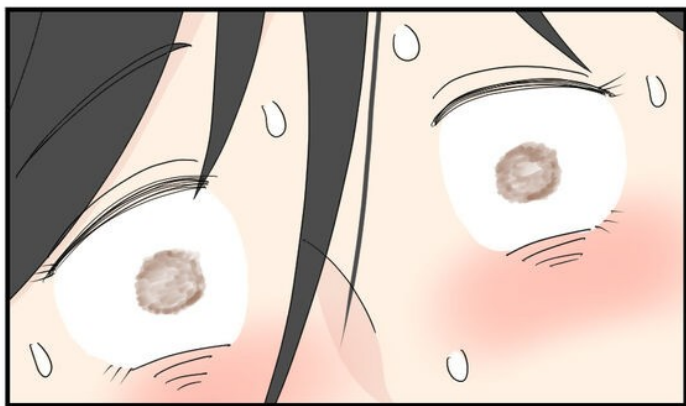


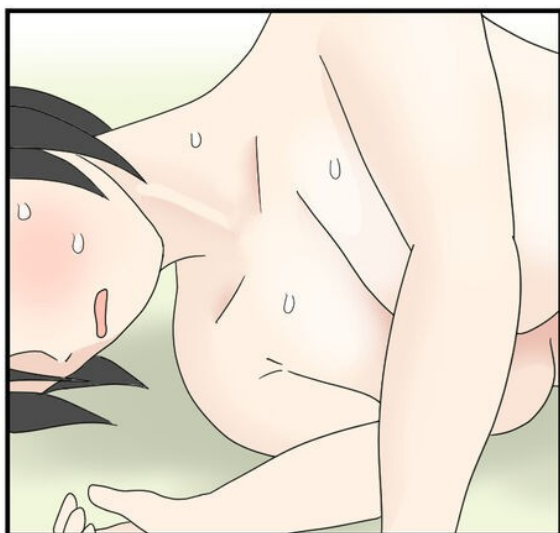
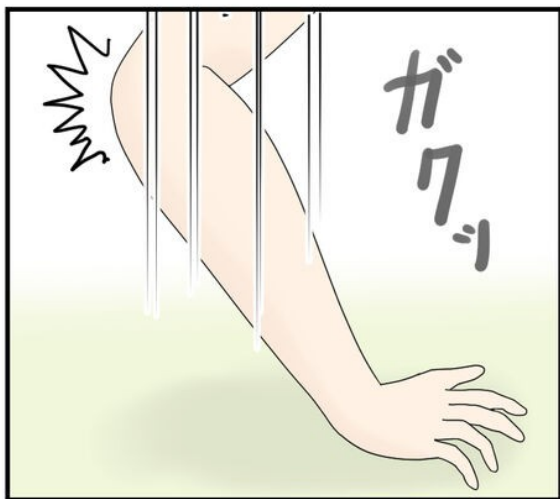
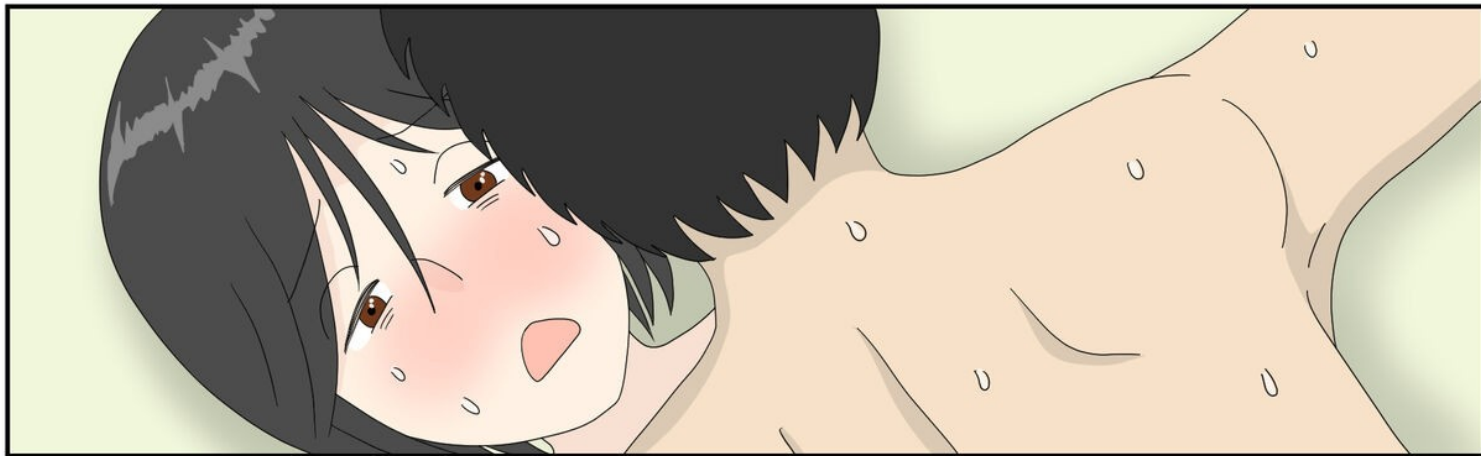
うめえ...
うめえ

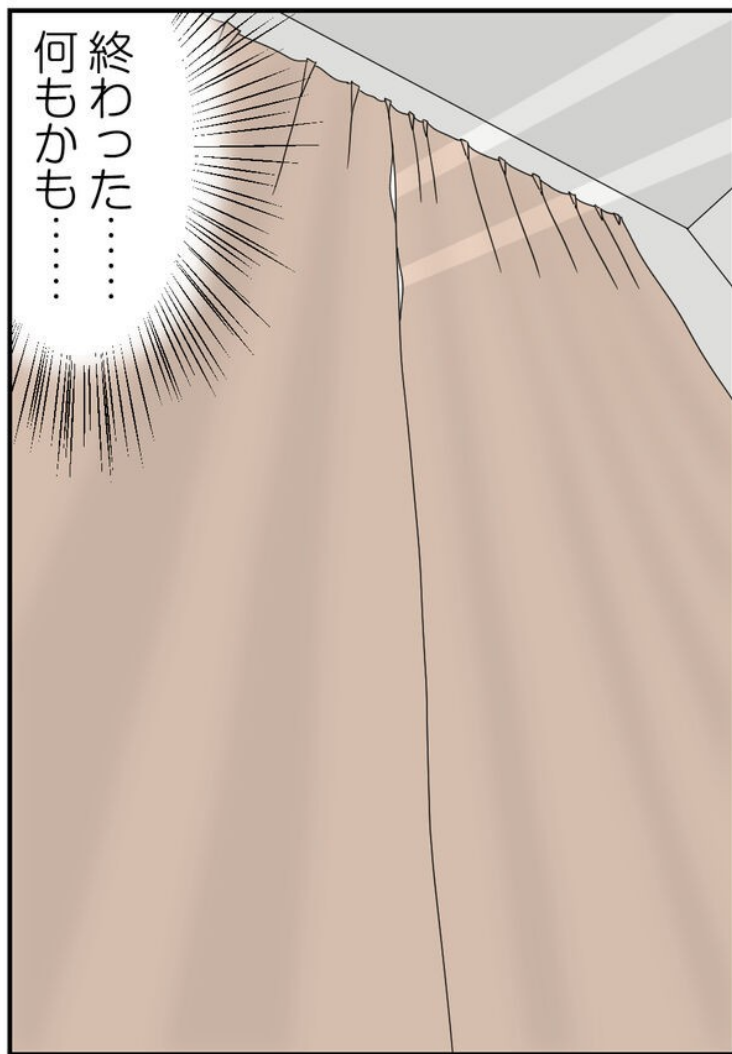
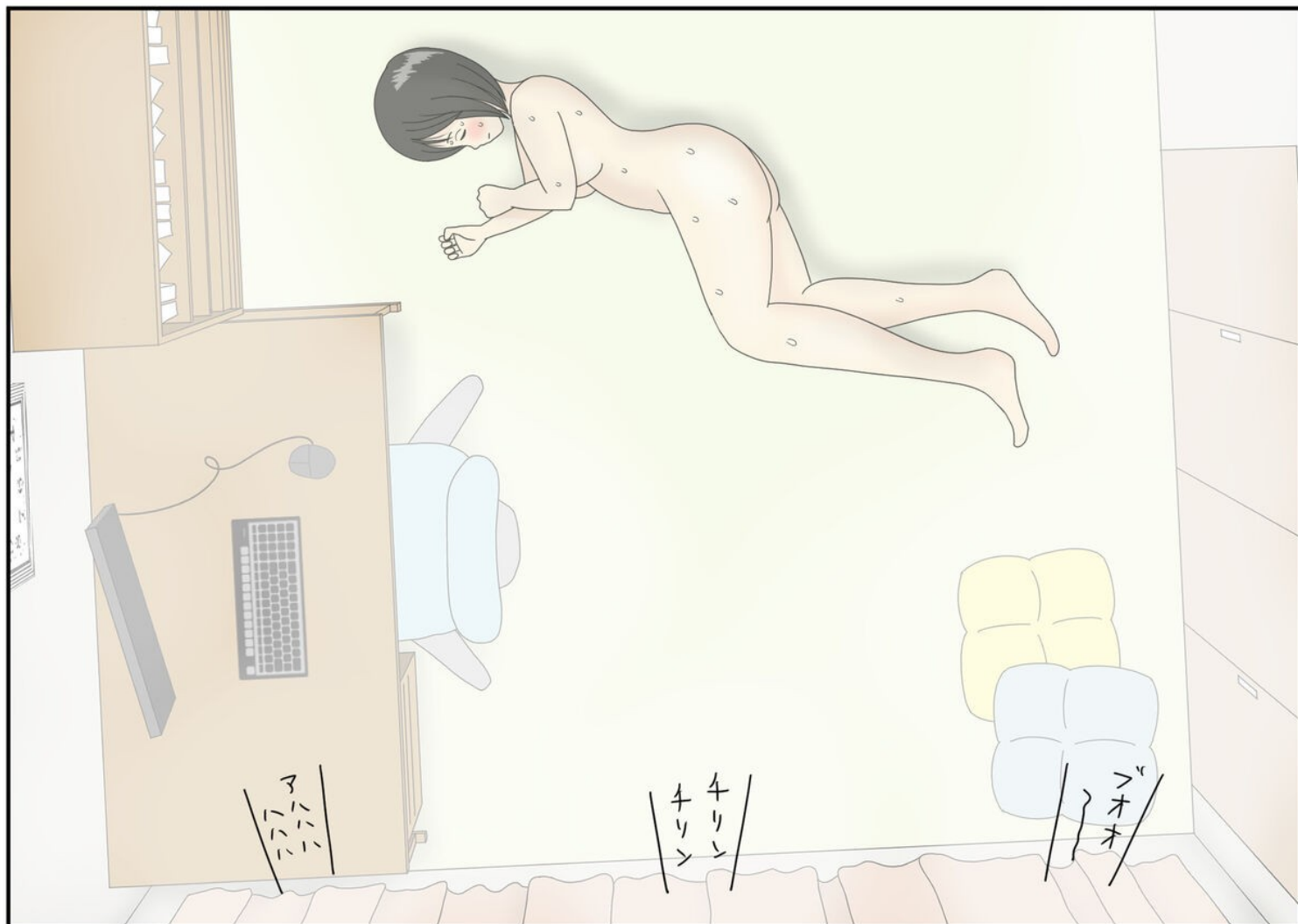
ドュドュド

ドュドュド

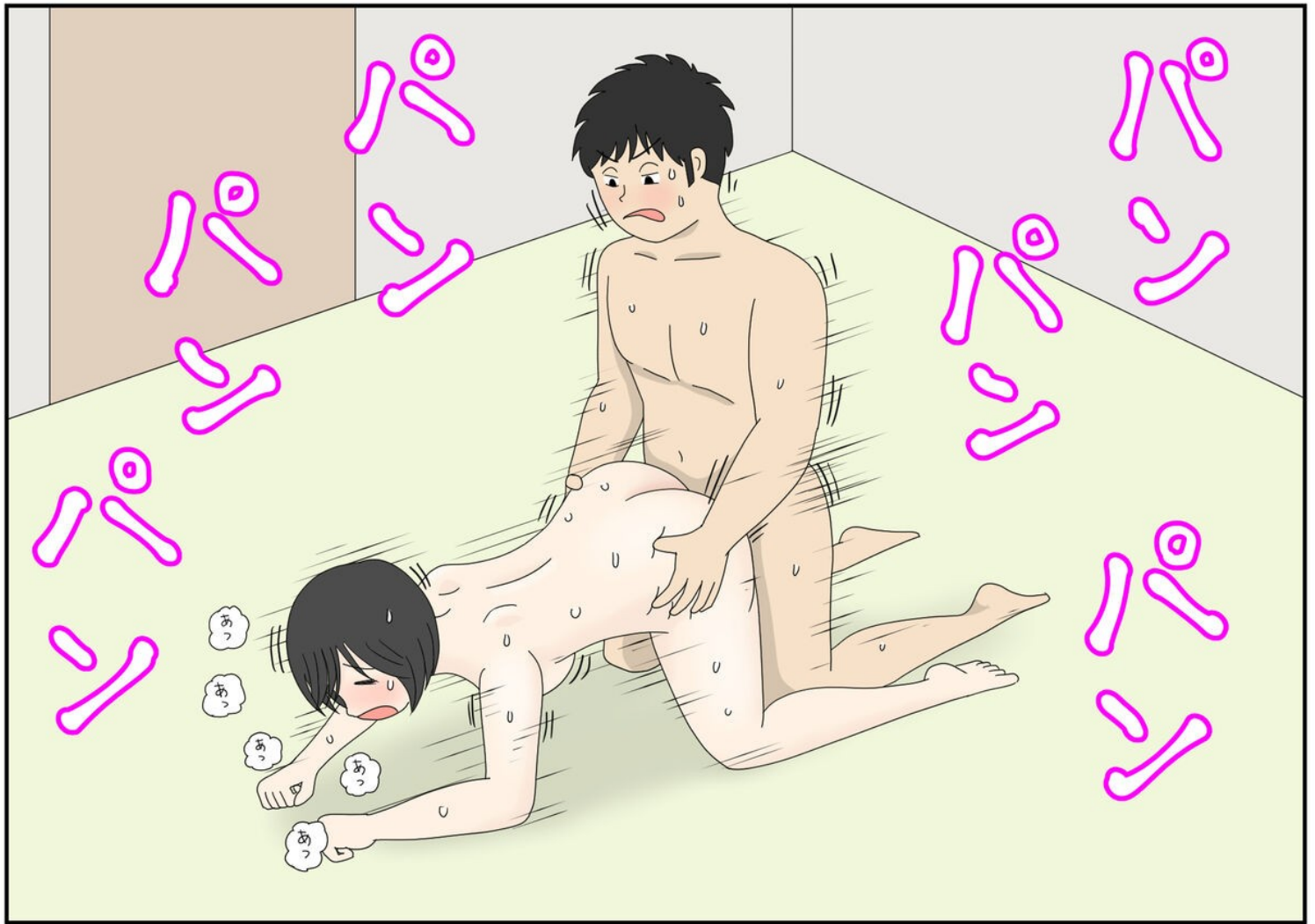
んああ
ああいひい
あはあ
ん

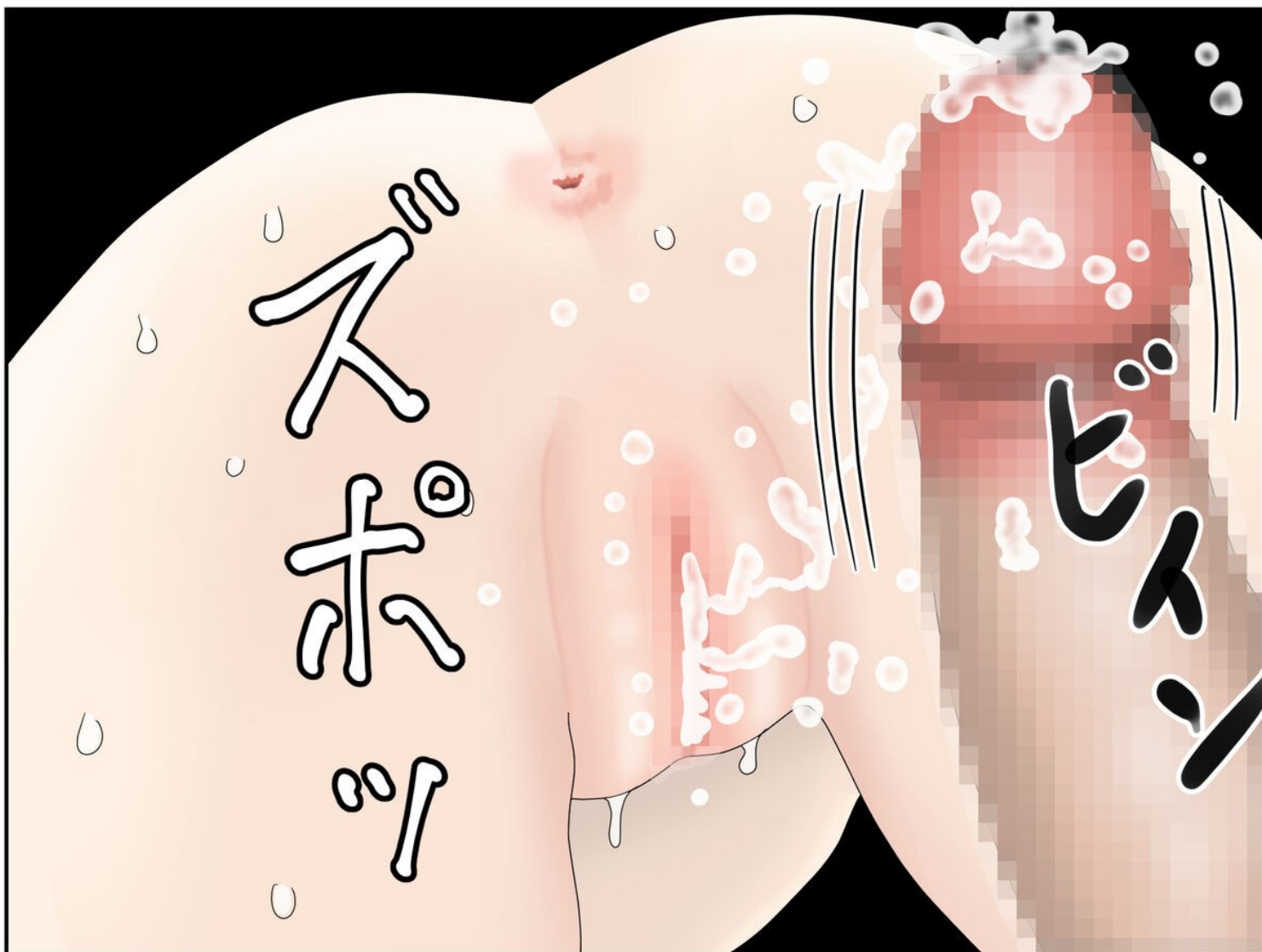
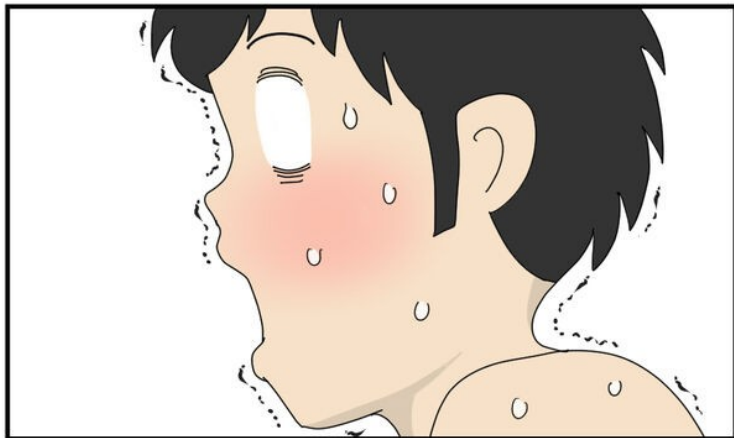


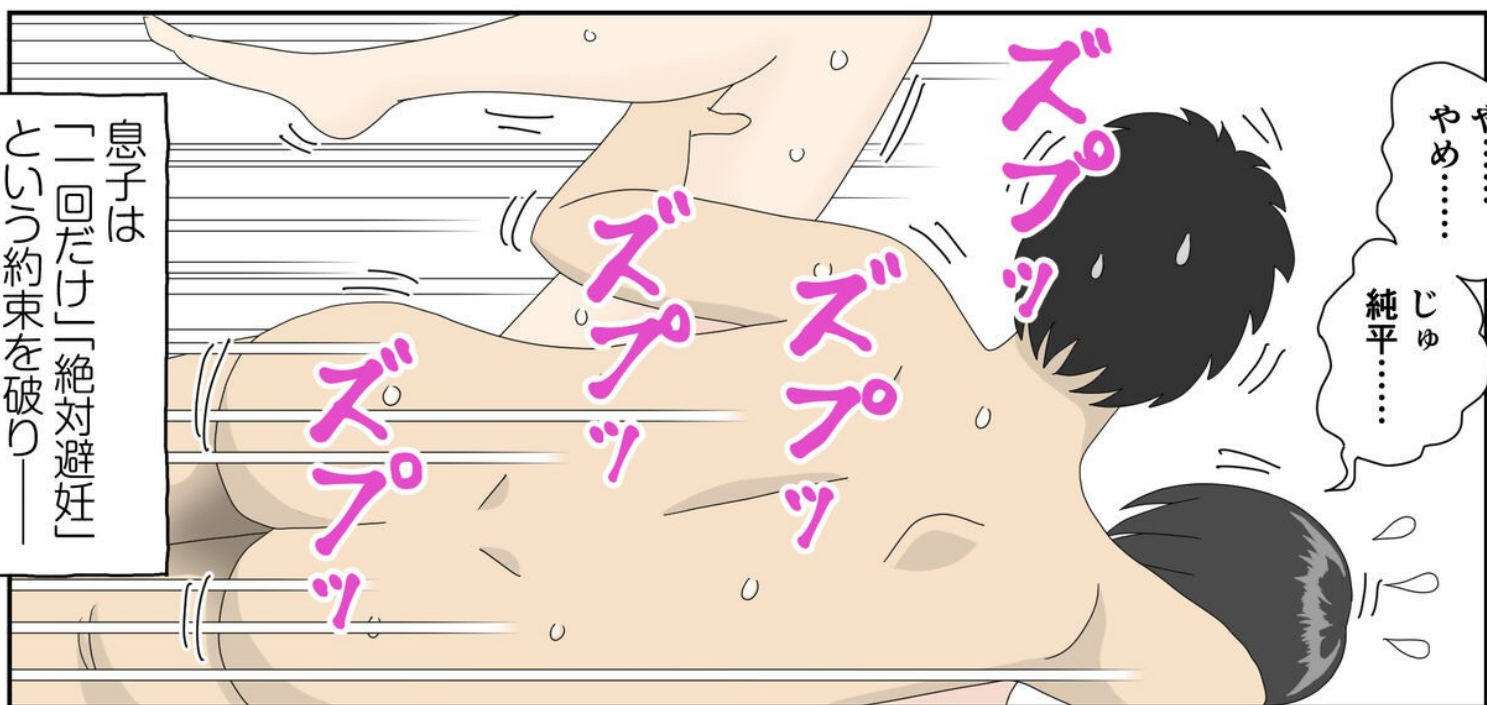
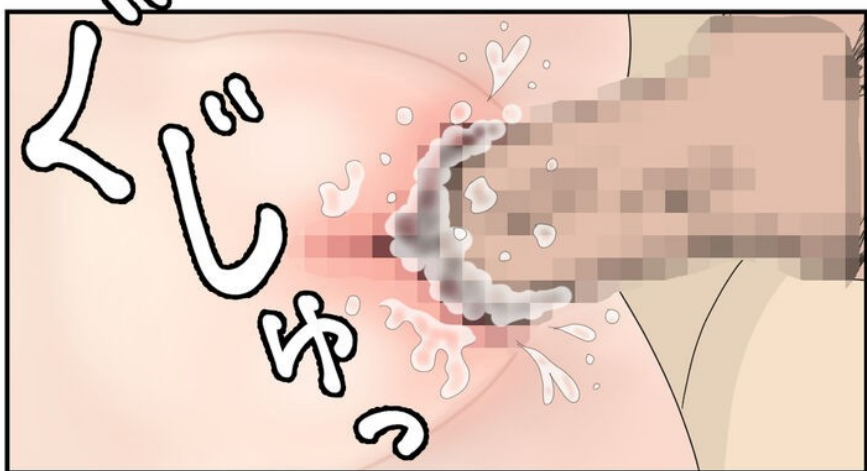
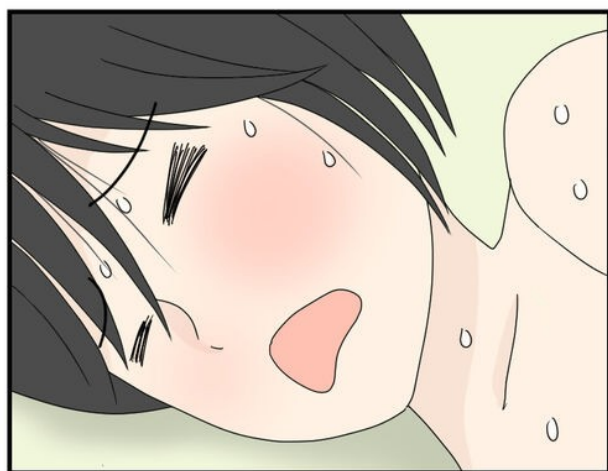




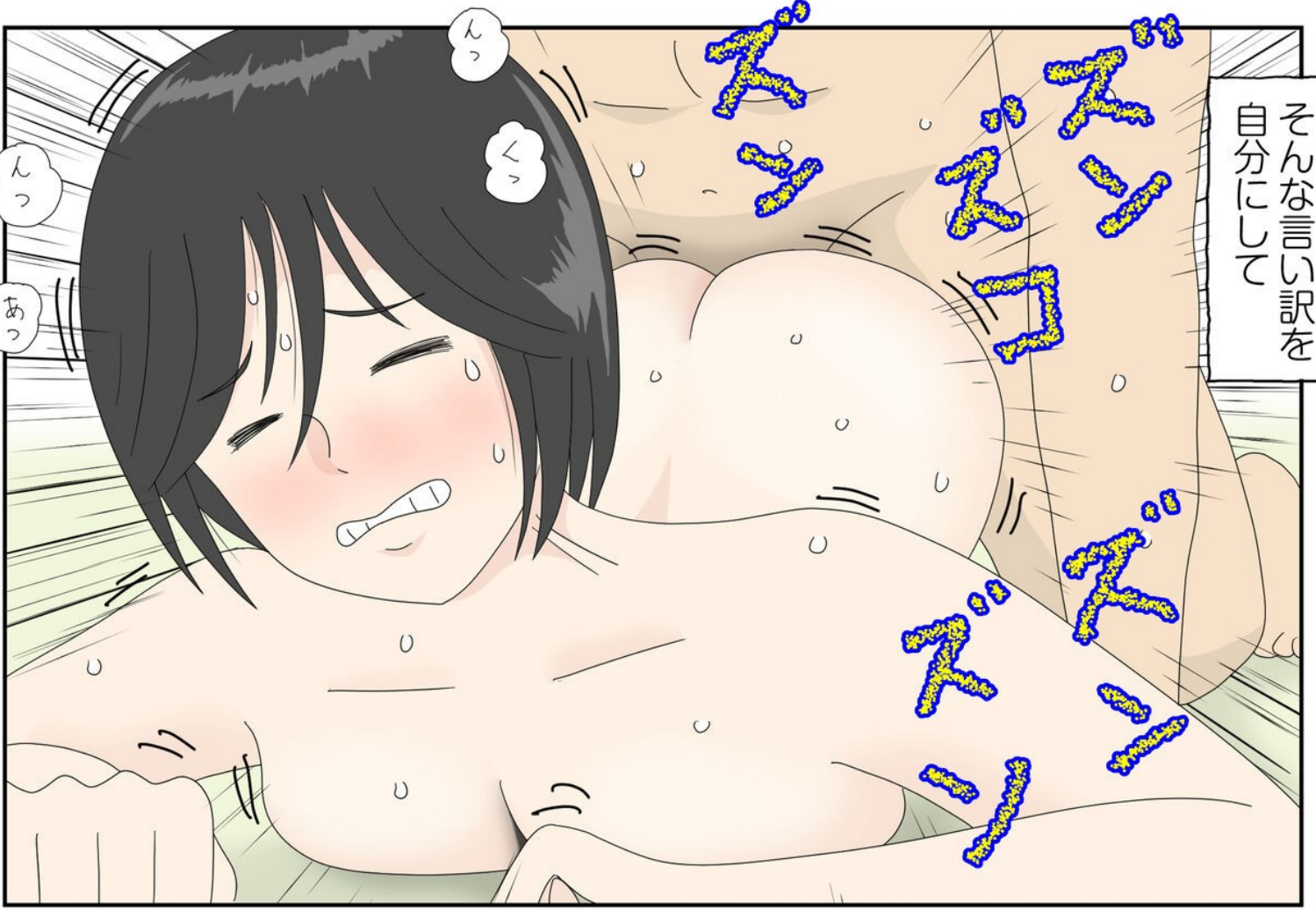
終わった……
何もかも……







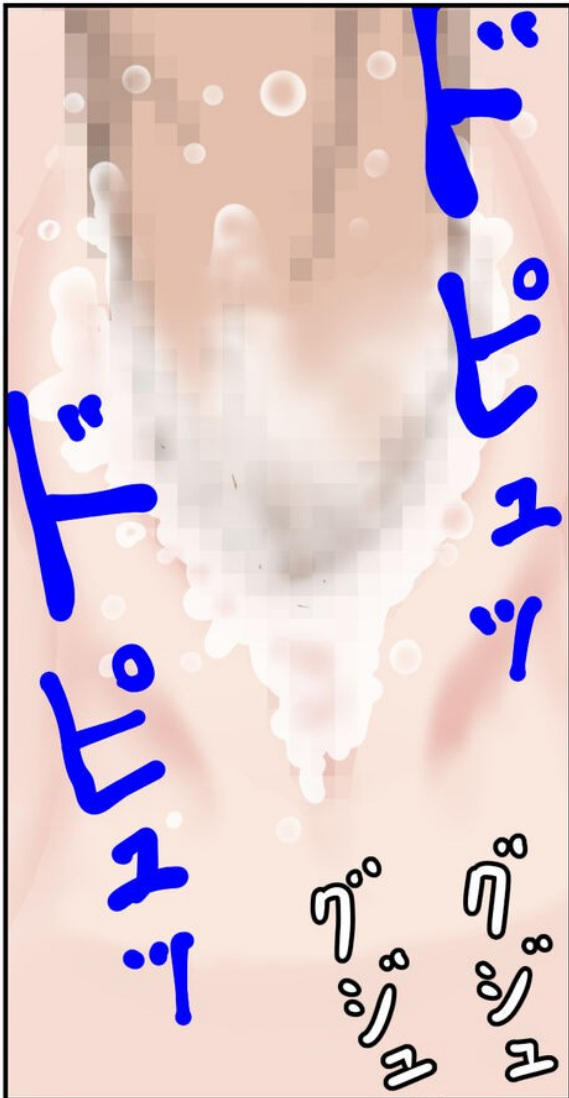
そんな言い訳を
自分にして



私は私を
犯し続ける息子に



強い抵抗を
しませんでした



そんな風に
息子に身を
まかせた
結果……

んっ
あっ
あっ
あっ
あっ

ズ
ッ
プ

ズ
ッ
プ

ズ
ッ
プ

ズ
ッ
プ

ズ
ッ
プ

ズ
ッ
プ

息子は延々と――
延々と私の体内に

精をそそぎ入れ
続けました

受験勉強の間に
たまったものを
すべて放出
するかのよう





